

# 七尾高校同窓会だより



第 46 号

2025年(令和7年)5月



【明治記念講堂と高峰桜（2012年12月植樹） 2025年4月撮影】

## 目次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 会長・校長挨拶                     | 2  |
| 叙勲、同窓会役員一覧                  | 3  |
| 総会・懇親会報告                    | 4  |
| 地区別同窓会活動状況                  | 6  |
| 期別同窓会報告                     | 11 |
| 同窓美術会展開催のご案内、<br>オリジナルグッズ販売 | 13 |
| インタビュー（菊川 弘之氏）              | 14 |
| インタビュー（久保亜希子氏）              | 15 |
| 母校は今、大学合格者数、寄贈              | 16 |
| SSH・NSH通信、創立記念講演会報告         | 17 |
| 令和6年度 部活動大会成績               | 18 |
| 能登半島地震後の復興イベント、支援金          | 20 |
| 運営協力金ご芳名                    | 22 |

## 令和7年度 七尾高校同窓会のご案内

- 日時 9月14日（日） 総会 11：00 ～  
懇親会 12：30 ～
- 会場 ホテル日航金沢（石川県金沢市本町2-15-1）  
※金沢地区合同同窓会と合同で開催されます。

## 令和7年度 七尾高校同窓会 理事・評議員会のご案内

- 日時 8月24日（日） 10：00 ～
- 会場 七尾高等学校

※詳細は、各理事・評議員の皆様へ後日ご連絡いたします。



## ご挨拶

若葉の緑が日に日に色濃くなり、風薫るさわやかな季節となりました。木々の間を吹き抜ける風にも、初夏の訪れを感じる今日この頃、皆さまにおかれましては、益々のご健勝にてお過ごしのことと、心よりお慶び申し上げます。

平素より、七尾高校同窓会の活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和 7 年 3 月には、第 77 回生の生徒たちが母校を巣立ち、それぞれの新たな道へと旅立っていきましました。希望に満ちたその姿は、私たち同窓生にとっても大きな励みとなりました。そして 4 月には、第 80 回生の若者たちが七尾高校の門をくぐり、新たな歴史を刻み始めております。本校は創立 127 年を迎え、「能登に七尾高校あり」と、その存在は今なお地域の中で光り続けています。

本年は、大阪・関西万博の開催という大きな節目を迎えました。多くの同窓生がさまざまな形でこの国際的なイベントに関わっておられることと存じます。その中で、本校ダンス部の生徒たちが万博のステージに立ち、いきいきとしたパフォーマンスをみせてくれました。母校で育んだ力が、全国へ、さらには世界へと羽ばたく姿を



## 決意と感謝

同窓会の皆様には、平素から母校の教育活動に物心両面にわたりご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、私事ですが、令和 5 年 4 月に校長として着任し、今年度が最後の一年となります。これまでの二年間は、令和 5 年 5 月のコロナの五類移行に伴う社会生活の正常化と、令和 6 年 1 月の能登半島地震への対応とともに学校運営にあたる日々となりました。

感染症対策の変更により各地区同窓会が再開され、その度に貴重なご助言と励ましのお言葉をいただきました。また、地震発生直後からたくさんのご支援を賜りました。後輩となる生徒たちの学びの継続・充実、母校の発展のためにと多大なるお力添えをいただいたことに感謝申し上げます。

コロナ禍を通して生徒たちは「感染症対策を徹底したうえで出来

## 同窓会会長

久保 聡 (高 27)

見ることが出来るのは、私たちにとっても大きな誇りです。

同窓会では、本部同窓会をはじめ、各地区の同窓会活動のさらなる活性化にも力を注いでおります。世代を超えた交流の場として、再会を喜び合い、繋がりを深める貴重な機会となりますので、ぜひ積極的なご参加をお願い申し上げます。

また、同窓会活動の充実と継続的な運営のため、「運営協力金」へのご理解とご支援もお願い申し上げます。皆さまからのご協力は、母校支援や同窓生同士の繋がりを育む大切な力となっております。

なお、昨年元日に発生した能登半島地震により、ふる里・能登は今もなお、復興・復旧の道半ばにあります。被災された皆さまには、あらためて心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い日常の回復と地域の再生を、同窓会としても願っております。

私たち同窓生にできる支援やつながりの力を、今こそ大切にしてまいりたいと思います。

結びに、七尾高校のさらなる発展と、同窓生の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

校長 樋上 哲也 (高 36)

ることをやろう」と諦めない心と創意工夫の精神を身に付けました。地震後は、能登の創造的復興に向けて、未来を担う高校生の意見が求められたことから、生徒たちは「自分たちが社会をつくっていく」という当事者意識を強く持つことができました。

これらの経験と学びを活かし、新しい発想で優しく力強い社会を築いていく生徒たちの育成を、教職員一同手を携えて図ってまいります。また、同窓生の皆様が母校七尾高校の卒業生であることを誇りに感じていただけるよう日々の教育活動に努力してまいります。

結びになりますが、あらためて大変お世話になりましたことに御礼申し上げますとともに、同窓生の皆様のご健勝と同窓会のご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

おうちまるごとリフォーム 4Kテレビ エアコン 冷蔵庫 洗濯機 等

Miyako 音楽堂

(株)ミヤコ

代表取締役 久保 聡 (高 27 期)

〒926-0021 七尾市本府中町八部 30-1

TEL 0767-53-0001

URL <http://ongakudo.co.jp>

E-mail [miyako@ongakudo.co.jp](mailto:miyako@ongakudo.co.jp)



ミヤコ音楽堂HP



instagram



YAMAHA  
MUSIC SCHOOL  
ヤマハ音楽教室

ヤマハ  
ミュージックスクール

2025年度入会募集中

大人のための

青春ポップス ヤマハの教室で

“カラオケ以上、レッスン未満”歌の新しい楽しみ方!

# 祝叙勲

叙勲を心よりお祝い申し上げますとともに  
今後益々のご活躍を心祈念申し上げます。

令和6年秋の叙勲

旭日小綾章

西 徹 夫 (高18) 金沢市

旭日単光章

佐藤 一 郎 (高10) 七尾市

旭日単光章

宮 本 徹 (高23) 鹿島郡中能登町

瑞宝小綾章

森 田 雄 (高17) 金沢市

瑞宝双光章

中 島 幸 (高23) 七尾市

藍綬褒章

森 典 子 (高19) 七尾市

瑞宝双光章

池 廣 雄 (高24) 金沢市

瑞宝双光章

村 澤 勉 (高校旧職員) 金沢市

高年齢者叙勲 (令和6年6月17日)

瑞宝双光章

水口 浩 信 (高7) 七尾市

瑞宝双光章

林 良 信 (高7) 七尾市

瑞宝双光章

林 信 夫 (高7) 鹿島郡中能登町

瑞宝双光章

清水 晃 (高8) 七尾市

瑞宝小綾章

化生 正 (高校旧職員) 金沢市

瑞宝双光章

大 橋 覚 (高7) 七尾市・故人

瑞宝双光章

中村 公 一 (高7) 羽咋郡志賀町

瑞宝小綾章

国 田 衛 (高9) 七尾市

## (令和7年七尾高等学校同窓会役員)

顧問

圓山 義一 (中38)

佐原 吉博 (高7)

大林 重治 (高13)

津田 文雄 (高20)

山本みのる (女31)

会長

久保 聡 (高27)

名誉会長 (校長)

樋上 哲也 (高36)

副会長

大岩 為一 (高17)

魚岸志乃富 (高23)

小川 幸彦 (高26)

鰻目 剛 (高30)

内田 幸子 (高32)

松井 敏史 (高33)

長谷川明子 (高34)

前山 英規 (高39)

木村 静夫 (高40)

木下美也子 (高41)

議長

瀬戸 三代 (高27)

副議長

碓川 直子 (高31)

監事

今村 七郎 (高13)

所司 久雄 (高20)

佐原加津美 (高27)

佐原 博之 (高33)

理事

古川 正弘 (中42)

田中 三郎 (中46)

谷 為之 (中46)

稲葉 健 (中48)

垣内 外美 (女28)

村守 絹子 (高1)

木下 成一 (高2)

長澤 秀子 (高2)

前川 貞夫 (高3)

桜井 洋子 (高3)

春成 泰 (高5)

木本 峰生 (高6)

受川 則子 (高6)

大井 悦夫 (高7)

石垣 龍子 (高7)

堀岡 啓吾 (高8)

宮本 博子 (高8)

中田 惇 (高9)

杉本 亮子 (高9)

松浦 正武 (高10)

濱田 陸子 (高10)

西村 邦夫 (高11)

大窪 光代 (高11)

小西 和平 (高12)

高田久美子 (高12)

今村 七郎 (高13)

小林智恵子 (高13)

濱 暉元 (高14)

西村由紀子 (高14)

浅井 忠夫 (高15)

中川 松枝 (高15)

坂口 辰八 (高16)

赤島磨智子 (高16)

大岩 為一 (高17)

高山清都子 (高17)

橋屋 愈 (高18)

春木 良子 (高18)

浅野 栄二 (高19)

森山 典子 (高19)

八島 吉男 (高20)

岡田 洋子 (高20)

濱中 利博 (高21)

伊藤 厚子 (高21)

登美 鈴恵 (高22)

田治 吉彦 (高23)

魚岸志乃富 (高23)

谷内 米一 (高24)

田中美智子 (高24)

鶴沢 徹 (高25)

熊谷 京子 (高25)

丹保 甚逸 (高26)

塩村美保子 (高26)

西村 正悦 (高27)

池崎 正典 (高27)

赤倉 一郎 (高28)

千場恵美子 (高28)

山口 賢次 (高29)

清水 桂 (高29)

鰻目 剛 (高30)

高瀬あずさ (高30)

瀧野 満 (高31)

宮下 修 (高31)

小石 芳一 (高32)

竹 外喜子 (高32)

木下 義隆 (高33)

道下 雅美 (高33)

横山 茂弘 (高34)

池田 弘子 (高34)

上谷 正人 (高35)

山崎 香織 (高35)

茶谷 義隆 (高36)

浦上 智美 (高36)

浅野 恵三 (高37)

窪 きよ美 (高37)

青木 信幸 (高38)

澤井 有里 (高38)

松崎 健 (高39)

池崎 綾子 (高39)

政浦 芳典 (高40)

岡島 佳子 (高40)

津田 晃 (高41)

田畑 瑞穂 (高41)

山岸 充 (高42)

林 真由美 (高42)

姥浦 秀史 (高43)

森山 奈美 (高43)

金氏 克弥 (高44)

三野 希 (高44)

竹本 正裕 (高45)

勝尾 泉 (高45)

関軒賢太郎 (高46)

竹下 夏子 (高46)

政浦 義輝 (高47)

酒元 美江 (高47)

林 寿嗣 (高48)

山岡 美穂 (高48)

笹井 博司 (高49)

北口 雅子 (高49)

大井 智彦 (高50)

久保真由美 (高50)

木下 俊政 (高4)

佐野 藤造 (高5)

木本 峰生 (高6)

堀岡 啓吾 (高8)

初道 政子 (高9)

佐藤 昭二 (高11)

姥浦 哲男 (高12)

草間 実 (高14)

上村 秀和 (高15)

橋本 正嗣 (高16)

大星 全 (高17)

横山 隆信 (高18)

福井 清久 (高19)

竹田 徹 (高20)

菅野 広士 (高21)

姥浦 敏明 (高22)

田中 道夫 (高23)

伊賀 正道 (高24)

西野 二郎 (高26)

瀬戸 三代 (高27)

坂本 博史 (高28)

久保 明義 (高29)

中山 潔 (高30)

碓川 直子 (高31)

大谷しず香 (高32)

松井 敏史 (高33)

金岡 利宏 (高34)

楠 利勝 (高35)

種谷 多聞 (高36)

三谷 康彦 (高37)

古川 宏幸 (高38)

吉田 茂和 (高39)

中西 文江 (高40)

澤井 健一 (高41)

伊藤 隆行 (高42)

芝垣 圭太 (高43)

村田 充 (高44)

高橋 正浩 (高45)

中島 慶一 (高46)

西野 智紀 (高47)

清水真一路 (高48)

西村 雅宏 (高49)

細川 泰威 (高50)

事務局

副校長

大坪 克哉

教頭

飯井 巧 (高43)

事務局長 (会計)

土井 保潔

木下 和也 (高59)

笠間 路行 (高34)

谷内真喜子 (事務)

(令和7年4月現在)

若人の、  
学ぶ幸せを  
応援したい。

あすなろ基金

## 七尾高等学校同窓会兼 金沢地区合同同窓会 開催

同窓会総会および懇親会が令和 6 年 9 月 22 日 (日) に金沢地区合同同窓会も兼ねて、ホテル金沢で開催されました。同窓生が旧交を温めることのみならず、能登の復興復興ならびに母校への支援への思いを新たにすることができました。

### 総会

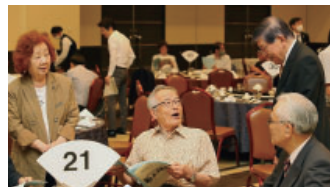
前山英規副会長 (高 39) の司会で総会が始まり、久保聡同窓会会長 (高 27) と樋上哲也学校長 (高 36) より挨拶がありました。その後、瀬戸三代副議長 (高 27) により議事が進行されました。前年度の事業決算報告と合わせ、新年度の事業計画予算案が審議されました。役員改選では、瀬戸三代氏が議長に、碓川直子氏 (高 31) が副議長に就任することが承認されました。



久保会長挨拶

瀬戸副議長による  
議事進行

樋上学校長挨拶



■懇親会  
前日は能登半島での集中豪雨という悪天候でしたが、約 300 名の会員の皆様のご参加がありました。

久保亜希子氏 (高 54) が司会を務め、盛本芳久氏 (高 25) の尺八演奏に合わせて、能登半島地震により犠牲となられた方々、これまでに亡くなられた同窓生の方々への黙祷が捧げられました。引き続き、鎮魂と地震後の復興を祈念し、竹澤悦子氏 (高 33) に箏独奏曲『讃歌』を演奏して頂きました。



箏演奏 (竹澤様)



黙祷 (盛本様)



司会の久保様

丸一グループは、多彩な事業と取り組みで地域をつなぎ、信頼、安全、多様性に満ちた「まるい」サービスで、地域の企業活動を支えます。



### 丸一運輸

木下義隆  
(33回生)



## Maruichi Group

TOGETHER FOR A BRIGHTER FUTURE.



丸一タクシー  
木下美也子 (41回生)



### 丸一観光 木下徳泰 (36回生)



後半には、七尾市長 茶谷義隆氏（高36）が、豪雨対策に



歓談の合間には、七尾高校生から同窓会会員の皆様へのビデオメッセージを上映し、七尾高校同窓会オリジナルグッズである「マフラータオル」販売と「半袖ポロシャツ」予約受付による母校への支援をお願いしました。



西会長挨拶

久保会長の開会挨拶、樋上学校長挨拶、来賓紹介の後、金沢地区合同同窓会会長 西徹夫氏（高18）の発声で乾杯をしました。

終盤では、恒例の期別最多参加賞を高25回生27名が受賞し、記念品が贈呈されました。その後、今村七郎監事（高13）の旗振りの下で、校歌、平常歌を全員で斉唱しました。そして、同窓会顧問の大林重治氏（高13）の中締めにより、和やかな雰囲気の中にも七尾



期別最多参加賞 高25回生



茶谷七尾市長挨拶

万全を期した後駆け付け、震災後の状況報告を含めた挨拶がありました。



校歌・平常歌斉唱（今村監事）

高校同窓生が結束し能登半島復興と母校のさらなる発展を祈念する懇親会は幕を閉じました。



大林顧問挨拶



ヘルシー＆ハッピー

**スギヨ**

SUGIYO CO., LTD.

美しい能登を  
世界へ  
次世代へ



## 株式会社スギヨ

〒926-0835  
石川県七尾市西三階町10号4-1

電話 0767-53-0180  
<https://www.sugiyoko.jp/>

代表取締役社長 杉野哲也  
専務取締役 杉野浩也（高57期）

杉野  
哲也  
と  
作

## 地区別同窓会活動状況



会長／竹内淳一  
(高 25)

### 関 東 同 窓 会

【会員数：約 2,700 名】

関東同窓会より皆様へ

能登半島地震や豪雨災害の復旧・復興にご尽力されている地元および全国の同窓生の皆様に、心からのエールを送ります。関東同窓会では、昨年の地震発生以来、本部や各地区の同窓会と協力し、さまざまな支援活動を行ってまいりました。

昨年6月22日(土)に開催した関東同窓会総会・懇親会には、七尾親善大使の加藤登紀子さんにもご参加いただき、その場でお預かりした義援金を高校へ寄付しました。また、地元市町村が東京で開催する復興関連行事にもボランティアとして積極的に支援を行っております。

一方で、コロナ禍により中断していた年2回のゴルフコンペ、大相撲観戦、ウォーキング、部会活動も再開し、活発に交流を深めています。年末には16名が参加し、対面での越年会を開催。久しぶりに顔を合わせ、互いの無事を喜び合いながら、大いに盛り上がりました。

近年、少子化や物価高の影響もあり、関東で学ぶ七尾高校生の数が減少傾向にあります。そこで、高校と連携しながら、さまざまな支援策を模索し、何とか進学者を増やせないかと取り組んでいます。また、学生のみならず、新たに関東へ移住された卒業生の方々にも、ホームページを通じて関東同窓会の活動を紹介し、行事への参加を呼びかけています。

今年の関東同窓会総会・懇親会は、6月28日(土)にアルカディア市ヶ谷にて開催予定です。今年は60周年の記念大会となりますが、50周年の際のように大規模な記念冊子を発行するのではなく、例年通りの形で進める予定です。復旧・復興がある程度落ち着いた段階で、改めて大きな節目を祝いたいと考えております。

復旧・復興にはまだ時間がかかりますが、皆様の息の長い支援を引き続きお願いいたします。

この10年間、コロナ禍の影響で4年間も総会・懇親会を中断せざるを得ませんでした。しかし、一昨年の再開後、多くの方が集まり、無事を確認し合いながら再会を喜ぶ姿が印象的でした。今年も変わらぬ笑顔に出会えることを信じ、準備を進めてまいります。

当日、皆様とお会いできることを楽しみにしています。

令和 6 年 6 月 22 日 (土) 懇親会の様子



米寿・傘寿・喜寿の長寿お祝い



古希のお祝い (高25期)



- 相談役／木下 嘉平 (高 15)
- 副会長／田中 敏雄 (高 8) 会計監査兼任・寺崎 米嗣 (高 14)・半田 哲也 (高 16)・権田 千里 (高 36)
- 幹事長／三谷 学 (高 19)
- 会計幹事／西尾 肇 (高 18)・年代 豊 (高 28)
- 会計監査／木下 孝生 (高 12)

<各部会> ゴルフ部会 (春秋会)：会長／木下純夫 (高 20)、大相撲観戦部会：会長／三谷正行 (高 10)  
ウォーキング部会：会長／津田俱宏 (高 15)

〇お問合せ先 七尾高校関東同窓会事務局【Eメール】kanto@nanakou.jp  
\* 電話・ファックスでのお問い合わせは七尾高校同窓会事務局まで【0767-52-3376】

暮らし新鮮、イキイキ笑顔



能登エリア

東 部 店  
ベイモール店  
ナッピー店

金沢エリア  
どんたく 西南部店

アスティ店  
生鮮市場 和倉店  
穴 水 店

かほくエリア  
かほく店

宇出津店  
高 浜 店  
エブリイ鳥屋店

野々市エリア  
野々市中央公園店

どんたくホームページは  
こちらから▼



<https://www.dontaku.co.jp/>  
山口宗大(高54回)





会長／三谷史生  
(高17)

## 関西同窓会

＜お知らせ＞令和7年度総会・懇親会は5月18日(日)に開催。

【会員数：約 1,400 名】

まずは昨年初の大地震の復旧もままならない中で、9月には豪雨災害が追い打ちをかけ、被災地の卒業生、現役、そのご家族の皆様には心からお見舞いを申し上げます。

当関西同窓会の今年は大変革の年です。

若手幹事のデジタル・トランスフォーメーション(DX)の知見を活かし、今年同窓会の総会・懇親会のご案内はメールアドレスをお持ちの方はメールで案内を差し上げ、メールアドレスをお持ちでない高齢の方には郵便でのご案内をお届けしますが、特筆すべきは、出欠の連絡はQRコードを使って簡単・便利にご連絡頂くことにいたしました。

これにより高騰した郵便料金のセーブが出来るとともに、幹事会としてもデータ管理上、極めて利便性が高まり、事務の効率化が図れることになりDXの恩恵を最大限享受したいと思っています。

今年の関西同窓会の総会・懇親会は5月18日(日)に昨年と同じ新大阪のワシントンプラザホテルで12時～15時に開催いたします。

お一人でも多くの卒業生の皆様のご参加をお待ち致しております。

### 令和6年6月2日 懇親会の様子



幹事会ミーティングの様子

- 顧問／大西 良子(高9)・野村 治雄(高10)・上林 正一郎(高20)
- 副会長／辻口 信良(高18)・川島 紳明(高28)・浜田 哲洋(高30)
- 幹事長／坂森 猛(高25)
- 会計／向峠 勝吉(高25)・矢次 真由美(高51)
- 会計監査／近江 隆司(高14)・落合 泰明(高25)

○お問合せ先 事務局 辻口 信良(高18)

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-2 北ビル本館4階 太陽法律事務所内

[TEL] 06-6361-8888 / [FAX] 06-6361-8889



日蓮宗五勝具足之大本山  
子育鬼子母尊神霊場

## 中山 法華経寺

貫首 新井 日湛

〔旧姓名〕福井 清仁(高6回)／七尾市小島町法華谷出身

〒272-0813 千葉県市川市中山2丁目10番1号

電話 047(334)3433(代)



祖師堂(国指定重要文化財)  
比翼入母屋造のお堂



五重之塔(国指定重要文化財)  
加賀前田家3代当主 前田利常公寄進



会長／松本晴男  
(高 23)

## 中 京 同 窓 会

<お知らせ>令和7年度総会・懇親会は10月19日(日)に開催。

【会員数：約 400 名】

令和6年10月27日(日)、ルブラ王山にて第40回七尾高校中京同窓会総会・懇親会が開催されました。本部同窓会久保会長、七尾高校黒坂副校長をはじめ本部・関東・関西・金沢地区同窓会役員、七尾高校教職員の方々、中部石川県人会西田会長ら13名の来賓と会員29名のほか、特別ゲストとして演歌ボリスで知られる新記直臣さんをお迎えして合計43名の参加者がありました。

総会は高山博之副会長の司会で進行し、会長挨拶、会計報告、会計監査報告、来賓挨拶がなされました。

そして、懇親会に移り、司会進行は川尻稔事務局長に交代しました。懇親会は、敵田進さんの乾杯の音頭で始まり、演歌ボリスこと新記直臣さんの特別ステージが開演しました。新記さんには、石川さゆりの「能登半島」、坂本冬美の「能登はいらんかいね」ほか数曲を熱唱していただき会場は大いに盛り上がっていました。その後、カラオケやお楽しみ抽選会を行いました。

最後は参加者全員がステージに上がり校歌と平常歌を合唱し、高山副会長の音頭による三三七拍子で締め、坂江章演さんによる万歳三唱で幕を閉じました。

総会・懇親会には中京地区以外の同窓生も多数参加して、久しぶりに会う同窓の友人たちと語らい、会場いっぱい笑顔の花が咲いていました。

本年は10月19日(日)に昨年と同じルブラ王山にて総会・懇親会を開催します。

本同窓会は、中京地区の同窓会会員だけでなく広く全国から参加者が集まります。かつては、北海道や九州から参加者もありました。本年も広く全国から参加者を募集しますのでお気軽に参加してください。

### 令和 6 年 10 月 27 日 (日) 懇親会の様子



■顧問／坂本 惇 (高 8) ■副会長／八木 哲司 (高 22)・高山 博之 (高 24) 代表幹事兼任  
■会計／柴田 弘美 (高 26) ■会計監査／倉田 美智子 (高 13)・坂江 章演 (高 29)

#### ○お問合せ先

事務局長 川尻 稔 (高 29)

〒464-0075 愛知県名古屋千種区内山 3 丁目 31-27 今池ゴトービル 403 号室 (株)グリーンランド内

【TEL】090-2188-0009 【Eメール】nanakou@kawashiri.com



会長／三浦正義  
(高 23)

## 富 山 同 窓 会

<お知らせ>令和7年度総会・懇親会は11月9日(日)に開催。

【会員数：約 340 名】

今年の富山での同窓会の開催日は11月9日(日)に行われます。

よろしくお願いいたします。

### 令和 6 年 11 月 17 日 (日) 懇親会の様子



■副会長／戸潤 裕文 (高 27)  
■幹事／二谷 武 (高 34)・當波 茂孝 (高 42)・西塚 真也 (高 42)・高澤 英樹 (高 47)  
■会計／高鳥毛 正 (高 32)・常光 健一 (高 37)  
■会計監査／半田 豊和 (高 23)・棚田 一也 (高 32)

※お問い合わせは、七尾高校同窓会事務局まで

医療法人社団 真貴会

## 国下整形外科医院

〒926-0016 七尾市大和町子部15番地3

TEL 0767(54)0131



会長／八十田 至  
(高 20)

## 中能登同窓会

＜お知らせ＞令和7年度総会・懇親会は5月25日(日)に開催。

【会員数：約 1,800 名】

能登半島地震で被災された同窓生の皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。中能登同窓会の会員も多くが被災したことから、令和6年度の総会・懇親会の開催を自粛（中止）いたしました。未だに復旧が道半ばで今現在も公費解体が進行中であり、地域から家屋が1軒、2軒…と無くなっています。令和7年度こそは総会・懇親会を開催し、地域の復旧復興に向けて、同窓生の結束を高めていきたいと考えています。

総会・懇親会は自粛しましたが、役員改選の年でもあったため、役員・世話人の方々による書面決議という形で、役員改選を行いました。中能登同窓会設立当初から会長を務めていただいた今井武司様（高13）が退かれ、新たに八十田至様（高20、歴代校長）が会長に就任いたしました。その他、副会長も交替し、地震の年に役員改選という忘れられない一年となりました。

総会・懇親会は、例年5月の最終日曜日に開催しています。どなたでもご自由に参加いただけますので、どうぞ振るってご参加ください。

文責／事務局長 藤澤恒（高41）

■顧代表顧問／稲葉 健（中48） ■顧問／谷 為之（中46）・今井 武司（高13）・戸部 信六（高9）  
谷内 洋介（高15）・島田 博文（高16）・大西 誠（高33） ■参与／太田 光子（高15）・鈴木 弘子（高17）  
長谷川 恵美子（高18） ■相談役／肥田 吉保（高7） ■副会長／笹川 修三郎（高20）・領家 優（高20）  
福多 昌子（高37）・元平 暢子（高37）・木村 実貴絵（高40） ■代表幹事／遠藤 憲（高21）  
■会計監査／新屋 春雄（高14）・横井 富弘（高18）

### ○お問合せ先

事務局長 藤澤 恒（高41）〒929-1804 石川県鹿島郡中能登町在江ワ21 [TEL] 0767-57-1775

事務局次長 澤井 健一（高41）〒929-1811 石川県鹿島郡中能登町二宮レ139-1 [TEL] 0767-76-0875



会長／坂本 衛  
(高 22)

## 志賀町同窓会

【会員数：500 名】

同窓会開催に期待を

同窓生の皆様にはお元気で活躍のこととお喜び申し上げます。志賀町同窓会では二年毎に同窓会を開催し、旧交を温めております。しかし、令和元年から蔓延した感染症の「コロナ禍」の影響で令和2年、令和4年と2回の同窓会を中止せざるを得ませんでした。感染症も五類へ移行となり、令和5年12月に役員会、幹事会等を開催して、令和6年に「志賀町同窓会」を開催することに決定しました。その会では四年毎の総会、懇親会開催の年で、6年ぶりの同窓会ということもあり役員一同、以前を振り返り、本部同窓会に連絡を入れながら遺漏なきようにと進めてきました。

しかし、1月1日に起こったマグニチュード7.6、震度7の大地震で期待していた同窓会は無残にも打ち砕かれました。地震後の役員会で今後のことについて話し合いを持ちました。同窓会のメンバーにも地震の影響を受けて、後片付けやインフラの破損等で「それどころではない」という意見で一致し同窓会の中止、総会の延期という判断に至りました。

地震の復興にはまだまだ時間はかかると思いますがお互いに協力しながら、元の生活に戻るよう努力していきたいと思っています。同窓会については令和8年に開催したいと考えています。そして、総会は開けませんでした次開催まで現在の役員で志賀町同窓会を続けて運営させて頂くこととなりました。どうぞご了承ください。

■顧問／青山 源隆（高20）・林 一夫（高20）  
■副会長／板尾 信子（高27）・高山 孝（高28）・荒川 仁（高33）  
■代表幹事／藤田 隆司（高47） ■監事／山岸 幸雄（高22）・酒谷 正人（高26）

### ○お問合せ先

代表幹事 藤田 隆司（高47）

〒925-0202 石川県羽咋郡志賀町代田ハ71 [TEL] 090-8742-7248





会長／小石芳一  
(高 32)

### 金沢地区合同同窓会

【会員数：約 3,000 名】

- 顧問／西 徹夫 (高 18)
- 副会長／中山 潔 (高 30)・村上 勝 (高 33)・岡部 雅彦 (高 33)・中山 能勝 (高 33)  
宮内 康範 (高 36)

○お問合せ先

念介 重俊 (高 39) [TEL] 080-3048-5273



会長／小山桂一  
(高 15)

### 輪 島 同 窓 会

【会員数：約 140 名】

- 副会長／盤若 尚 (高 18)
- 代表幹事／廣江 雄幸 (高 23)
- 監事／今寺 伸子 (高 19)・村元 悟 (高 24)

○お問合せ先

事務局 井池 光信 (高 26) [TEL] 090-2127-1810



会長／北川浩文  
(高 24)

### 穴 水 町 同 窓 会

【会員数：約 470 名】

- 顧問相談役／曾良 昌嗣 (高 16)・摩郷 則雄 (高 16)・宮下 源一郎 (高 18)  
大中 正司 (高 18)・井下 守 (高 27)
- 副会長／高木 作之 (高 30)・七海 友也 (高 35)
- 代表幹事／江戸 伸一 (高 26) ■会計／林 要 (高 29) ■会計監査／新本 美恵子 (高 13)

○お問合せ先

事務局 林 要 (高 29) [TEL] 0768-52-0098



会長／酒屋利信  
(高 26)

### 能登町・珠洲市同窓会

【会員数：約 300 名】

- 顧問／福池 正人 (高 17)
- 副会長／中板 富子 (高 24)・隅 幾久子 (高 28)・三宅 一宏 (高 35)
- 代表幹事／新田 豊 (高 19)
- 監事／馬場 等 (高 24)・青木 星一 (高 25)

○お問合せ先

事務局 大森 喜弘 (高 26) [TEL] 0768-62-0247



会長／田村敏博  
(高 23)

### 羽咋宝達志水地区同窓会

【会員数：約 380 名】

- 顧問／櫻木 博 (高 7)・小幡 秀治 (高 8) ■副会長／赤池 礼子 (高 19)
- 代表幹事／清水 久範 (高 21) ■監事／安達 清子 (高 21)・山本 まり子 (高 21)

○お問合せ先

事務局 尾崎 真裕美 (高 31) [TEL] 090-9769-1817

## いしかわスポーツマイレージ



スマホの歩数計機能と連携させ、活動をポイント化！

だれでも気軽にスポーツに参加できるきっかけをつくる  
石川県の公式アプリです！

＼ここからダウンロード！／



iPhone



Android

鵜沢 徹 (高25期)



【加賀屋の女将がプロデュースしたお店ができました】

〒933-0023

富山県高岡市末広町1番8号

ウイング・ウイング 高岡3階

営業時間：昼11:30～14:00 夜17:30～22:00

TEL：0766-73-8888 定休日：水曜日

【ホームページ】



万葉

3営業日前までにご予約下さい。

# 期別同窓会開催のご報告

## 【高6期】

### 時かぬ種子は生えぬ

木本 峰生

今年も『華六』七尾鹿島の同期生27人に、「華六卒寿のはなみ会のお誘い」という往復はがきを投函し、11人から承諾の返事をいただきました。これは私たち華六が14年前の平成22年12月、卒業の喜寿記念として校庭に河津桜を20本植え、毎年3月下旬に、はなみと会食を重ねてきたのです。

今年の3月は例年より寒く、1週間程桜の開花が遅れましたので、4月3日を集合日に決めました。華六の仲間顔を見るのと同じくらい河津桜の咲きぶりをみて、懐かしく楽しい気持ちになるのは私だけでなく、集まってくれた同志の心は皆同じだと思います。そうでなければ、卒寿の老爺婆の集合は成立しないと信じています。

歌手の島倉千代子さんの歌に「東京だよお母さん」という名歌がありますが、その二節目に「やさしかった兄さんが田舎の話を聞きたいと、桜の下でさぞかし待つたろ、お母さん」とうたっているのです。はなみの前日、私は河津桜の下でそと歌って下見をしておりです。

私たちも90歳になるので、もう河津桜のはなみは「今年で終わりにしよう？」と会食の時に口をすべらせたところ、女性のひとりに止められて、皆の糸乱れぬ心がわかり、



男涙をそっとぬぐいました。

華六の世話係を70年余りさせてもらってきたが、本当は人の世話をするのは苦手な男だということを同級生は皆知っており、陰に陽にバックアップしてくれたおかげで今日まで辿りつけたのです。皆さん本当に有難うございました。

島倉さんの「東京だよお母さん」を「七高桜だよ華六さん」にかえて結びとさせていただきます。

## 【高15期】

### 傘寿80才最後の同窓会開催

浅井 忠夫

前日、9月21日には能登は線状降水帯に襲われ、1月1日の能登半島地震に続いて悲惨な状況に見舞われた。

同窓会は開催中止か判断は迷ったが、開催場所は金沢であり、同日開催の七尾高校本部同窓会は予定通りの開催、15回生も金沢東急ホテルに参集した。

関東・関西からの参加者を含めて顔を合わせたのは31名。参加者の中からは、能登の豪雨による被害の状況が分からず、帰りの列車を心配して、チケットをキャンセルして参加を取りやめた方も出ました。

七尾以北からの参加者は、被災した輪島から1名。「どうしても出る」本人の気持ちを感じられた。

昼の時間帯での開催、夕方の本部同窓会を考慮して、これまでの和倉温泉での一泊の同窓会とは違って、時間は2時間に絞ってスケジュールを考えました。

参加者全員から、近況報告の時間を割いた。15分での報告は、考えて話すとすると大変な事になる。

卒業後、初参加の方もいた。焦点絞って話にしても時間が気になつたに違いない。病気の状況を長々と話す者もいた。高齢者にとっては、病気の共通の話題である。「わかつたぞう!」

「時間、時間:」仲間同士のやり取りは、いつもの通りでした。



参加者の中には、元気で参加できた喜びを語る人もいました。高校卒業後は、ごく普通通りの進路でしたが、その後は様々な道を歩んだに違いありません。当日、皆と顔を合わせた瞬間、喜びが溢れ出た様子でした。

高校卒業時の同窓生は350名、亡くなられた方は70数名、住所不明者34名。

80才を越えると、女性の方が元気でですね。80才からは第2の人生、100才を目指して元気に生きよう」と声を掛けあっていました。

同窓会名簿の作成は、今回で最後です。「七高同窓会だより」もオンラインに変更すると、経費45500万円削減になります。今後どうなるかわかりません。

## 【高17期】

### 十七回生事務局だより

大岩 為一

昨年は、1月に能登半島地震、9月には大雨と災害が続きました。コロナが収束して、さてこれからと思つていましたが地元での同期会開催がまた遠のきました。七尾高校同窓会は七尾市和倉温泉での開催を断念して、金沢市で金沢地区同窓会と合同で総会等を開催しました。本年も9

月14日(日)ホテル日航金沢での開催が内定しています。

復興に向けて皆さん一生懸命頑張っています。町の中ではようやく順番が来て公費解体が進み更地が目立ってきています。私の近所でも数件の解体にて空洞化が進んでいます。その中でも新築を進めているところもあります。

和倉温泉では、21軒の旅館のうちようやく4軒が営業していますが、まだ完全な営業形態ではありません。今後数年はかかる見込みです。和倉での同期会開催をこれからも模索していきます。

【関東・関西地区合同同期会in浜松】10月25日(土)開催決定!

(詳細は後日お知らせします。)

お問い合わせは、岡野拓夫君まで。

〒431-3121

静岡県浜松市東区有玉北町1384-4(連絡先は同窓会名簿で確認ください。大岩)

## 【高25期】

### 本部同窓会に参加して

鶴沢 徹

七尾中学校から始まり、120周年を経て、今年卒業の若い同窓生を含め大勢の卒業生がいる中で、25期の卒業生が2人も紙面を占領してしまふことは恐ろしく、原稿の提出を躊躇っております。その様な状況の中、同窓会事務局の方から「原稿をお待ちしております。」との御連絡をいただきました。そこまで言われたい、という気持ちで今ペンを執っております。

私は「老後」という言葉が好きではあません。人生百年時代を迎えて、定年後は老後ではなく「第二の人生」と呼びたいと思っております。さて、そんな第二の人生、ただ単に時間の経過の中に身を置くだけの人生はつまらないと思ひ、やり甲斐を3つ程見つけました。

1つ目は、警友会の活動です。警友会と聞いてもピンとこない方が多いと思いますが、警察職員OBの会です。普通の職業のOB会と違い、社会奉仕の活動が盛んな団体で、この歳になると地域に恩返ししたいという思いで入会しました。しかし、これも今年3月で七尾警察署長を退任された宮下実之様(高35)がいられなくなったら、これ程熱心に関わっていただけたと思います。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。

2つ目は、いしかわスポーツマイレージです。今年3月まで七高の副校長をされていた黒坂昭弘先生(高39)が七高の前に勤務されていた石川県庁スポーツ振興課所管のスマホ用のアプリです。七尾の登録者数が少なかった時には、当時スポーツ振興課にいらつした黒坂先生と一緒に能登食祭市場でパンフレット配りをしたこともありました。「歩く」ことが認知症予防になるというエビデンスも発表されています。このアプリにはランキングというページがあり、自分の歩数が県下や地域で何位というのでも確認できます。ポイントを貯めて能登牛やルビーロマンが当たる抽選会に参加することもできます。お米が当たった25期の同窓生もいます。この記事を読んでもいらいやる同窓生の皆様、是非このアプリをインストールしてください。その際は御住所に関係なく「地域」を七尾で登録、宜しく願ひいたします。(※10ページの広告参照)

そして3つ目は、一番力を入れている七尾高校同窓会の活動です。コロナ禍が始まる前の年に七尾高校が創立120周年を迎えました。その1年前の本部同窓会へ久々に参加させていただいた時の同期の出席者は、来賓に着席している同期を除いて5名でした。会の最後は、司会者の方が「来年は創立120周年を迎えます。今迄参加されていらつしやになかった方にもお声掛けして、盛大にお祝いしましょう。」と言われまして。よし!今年は10人テーブルの半

分だったけど、来年は1テール全  
員25期で占めて盛り上がりとう心に  
誓いました。その時はまだ同窓会理  
事ではありませんでしたが。

創立120周年を迎えた8月頃、  
自分が顔を思い出せる同期生に片っ  
端から電話を掛けました。距離は  
離れは気にせず会いたいと思った名  
古屋の福浦隆雄君、中村哲夫君、大  
阪の坂森猛君にも声をかけました。  
その甲斐あって目標の10人を超える  
20人で2テール分の人数の出席を  
得ることができました。これには少  
し余談がありまして、

「あちこちに電話を掛けている中、  
中能登町在住の岡島昇君との会話で、  
「俺は来賓の長い挨拶や校歌斉唱みた  
いな堅苦しい会は苦手やから25期だ  
けの同窓会せえま。」と言われ、それ  
もイイなと思ひ、昼はあえの風で本  
部同窓会、その日の夜はのと楽で25  
期の同窓会を開催する運びになりま  
した。結果、昼は20名(ドタキャン  
含む)、夜は30名参加という規模の同  
窓会になりました。その後、当時同  
窓会の副議長をしていた多田朗君か  
ら25期の理事をしろうと言われ、これ  
も何かの御縁と引き受けました。

その本部同窓会に話を戻しますと、  
会の途中で、一番参加人数が多かつ  
た期が壇上と呼ばれて顕彰されてい  
ました。よし！天国へ行く迄には少  
なくとも1回は25期が壇上に立つて  
顕彰される経験をしたい。それを理  
事としての今後の目標にしようと思  
いました。

昨年は元日の地震の影響で本部同  
窓会を和倉で開催することができず、  
金沢地区同窓会と  
合同で金沢市にて  
開催されました。  
ここぞとばかり  
に、金沢や加賀方  
面に生活の拠点を  
置いている同期生  
に片っ端から電話  
を掛けました。そ  
れぞれ快く  
出席を約束、当日



参加してくれたおかげで、なんと目  
標にしていた最多参加人数を呆気な  
く達成してしまいました。これ以降、  
何を目標に生きて行けば良いのかと  
思いましたが、こうなれば、この記  
録を2連覇3連覇と伝説の期となる  
べく頑張ろうと思った次第です。  
他の期の皆様、25期の連覇を阻止  
するべく本部同窓会にお集まりくだ  
さい。そして、25期の諸君！今年も  
また本部同窓会に集合して連覇を達  
成しましょう！

### 【高25期】 古希を祝う会

令和6年12月8日(日) 18時  
和倉温泉「のと楽」参加者50名

昨年元日に発生した能登半島地震  
により、今回の会は開催が難しいと  
誰もが思っていました。しかし、こ  
うして希望の日を迎え、無事に開催  
できたことを心から喜ぶたいと思い  
ます。本稿では、当日の様子を紹  
介いたします。

この会は、飯田伸一さんと熊谷京  
子さんの司会進行のもと、和やかに  
進められました。  
まず、幹事長の鶴沢徹さんが開催  
の挨拶を述べ、続いて関東同窓会会  
長の竹内淳一さんより、古希を迎え  
た喜びと開催に至るまでの熱い想い  
が語られました。その後、物故者へ  
の追悼として、盛本芳久さんの尺八  
演奏が響くなか、全員で黙祷を捧げ  
ました。

この会には、県内外から多くの同  
期生が集まり、それぞれの近況報告  
や懐かしい思い出話を花を咲かせま  
した。また、松村重伸さんによる太  
極拳の演武が披露されると、酔いも  
手伝って一緒に演武に加わる人も現  
れ、会場は一層盛り上がりしました。

飯田伸一さんは、能登半島地震の  
被災者を受け入れてきた矢田郷地区  
コミュニティセンターのセンター長  
としての経験を語り、震災の厳しい  
現状を伝えました。皆が耳を傾け、

改めて災害の影響  
を実感するととも  
に、支援の大切さ  
を再認識する機会  
となりました。

時が経つのは早  
く、歓談の中締め  
として、発起人の  
山本由起子さんが、  
この会の準備に至  
るまでの経緯と、  
久々に同期生と再  
会できた喜びを述  
べました。その後、  
一旦お開きとなり、  
引き続き二次会へ  
と場を移し、さら  
に親交を深めました。

この会の運営には、多くの方の協  
力がありません。幹事会の準備に加  
え、受付や二次会の買い出しを今田  
有妃子さんと三浦尚子さんに手伝っ  
ていただきました。また、三浦さん  
の畑で採れたジャガイモが希望者に  
配られ、大変喜ばれました。皆さん  
の温かい支えのおかげで、充実した  
会となりました。

翌日には、鶴沢さんの案内で11名  
が母校・七高を訪れました。その際、  
祝う会の予備費と余剰金を合わせ、  
七高支援金として樋上校長へ寄贈す  
ることができました。  
この古希を祝う会は、能登半島地  
震からの復旧・復興、和倉温泉の再建、  
そして七高への応援を兼ねた、意義  
深い集まりとなりました。これから  
も皆さまの健康を願いつつ、次回の  
再会を楽しみにしています。

### 【高37期】 第6回プチ同窓会in中能登 に参加して

33H 甲部 昭広  
(札幌市在住)

我々37期生は「集まるときに集



まらんか！」をコンセプトに、毎年  
お盆の時期にプチ同窓会を開催して  
います。令和6年では能登半島地震  
の影響を考え開催の可否を検討して  
いましたが、この基本コンセプトに  
立ち返り、幹事さんを中心に声掛け  
したところ、25名の参加を得て開催  
しました。

コロナによる行動制限が撤廃され  
て初めて迎えた元日に、能登半島を  
襲った震度7の巨大地震は我々の想  
像を遥かに超えるもので、この地震  
でお亡くなりになられた方々に謹ん  
でご冥福をお祈り申し上げるととも  
に、被災された方々に心よりお見舞  
い申し上げます。地震による被害は  
県内の広範囲に及び、諸先輩、朋輩、  
後輩等多くの方が自宅や実家、職場  
等で被災されました。あれから半年  
以上経ったにも拘わらず、奥能登を  
中心に倒壊した家屋が手つかずのま  
ま残されているのを目の当たりにす  
ると、皆様の辛勞がいかにほどかと案  
じて止みません。

一日も早い復興を願い、同級生の  
頑張る姿が互いを応援するものとな  
り、元気と勇気を取り戻す契機にな  
ればとの思いからこの同窓会を開催  
しましたが、会が始まると、皆それ  
ぞれに元気で明るく前を向いて頑  
張っており、この会が一時の安らぎ  
と励みになったと思えるほど感慨深  
いものとなりました。会場では会う  
と直ぐに当時の懐かしいあだ名で呼  
び合い、「あの時はこうだった、ああ  
だった」、「お前とこんなことしたな  
あ。覚えてるか？」といった会話で  
盛り上がり、何歳  
になっても高校生  
当時と変わらず、  
楽しく居心地のい  
い時間が流れ、気  
付くと4時間も  
経っていました。

この会に参加す  
るたびに、「やつぱ  
り、同級生って最  
高！」と思え、こ  
ういう時が毎年こ



## 2024年(令和6年版)の 同窓会会員名簿が発行 されました。

1冊 7,000円  
(送料込)

七尾中学校、七尾高等女学校、七尾高等学  
校(高1期~高76期生)や恩師、職員を含  
めた約28,000人の会員を掲載しています。

※購入をご希望される方は、同封の払込取扱  
票に必要事項をご記入の上、代金をお支払い  
ください。ご入金確認後郵送させていただきます。  
お問い合わせは、七尾高校同窓会事務局まで  
お願いします。

~お知らせ~  
今回の令和6年版にて、冊子(紙媒体)の制作を終了  
させていただきます。



こにあるのは、本当に幸せなことだ  
と改めて感じます。  
今回は、中能登町高島にある「か  
めや」で行いました。震災で甚大な  
被害を受けた内灘町西荒屋小学校で、  
当時校長をしていた同級生の実家と  
いうことで、その同級生を労う意味  
も兼ね使わせていただきましたが、  
4時間もおわたるこの会に、最後ま  
で心温まるおもてなしを頂きました  
こと感謝の念が堪えません。今年で  
6回を数えるこのプチ同窓会ですが、  
「また来年も集まろう」と皆口々にし  
ながら後ろ髪を引かれる思いで盛会  
のうちに終えました。  
私たち37期生も還暦を間近にして  
おりますが、同級生で借しくもその  
生涯を終えた友人がいます。その友  
人たちの在りし日を偲び、謹んで哀  
悼の誠を捧げます。「集まるときに  
集まらんか」というコンセプトは、  
先立つた友人一人一人を忘れないた  
めにも、そしてまた、この先何が起  
きるかわからないことを考えれば、  
「今、この瞬間を大切にしよう」という  
意味で真に必要なことなのかもしれ  
ないと改めて感じる同窓会でした。

## 第30回 七尾高校同窓美術会展

会期 9月16日(火)～26日(金) 9時～18時(19日、26日は15時まで)

日本画・洋画・彫刻工芸及び在校生美術部 16日(火)～19日(金)  
書・写真及び在校生書道部・写真部 22日(月)～26日(金)(23日(火祝)休)

会場 のとしんギャラリーかわも  
(七尾市松物町35 のと共栄信用金庫2階)

主催 七尾高校同窓美術会  
共催 七尾高等学校同窓会

### 展示作品を募集します！

【出品規定】 各部門から1人1点

◆絵画(日本画、水墨画、洋画) : 10号以内(額装)

◆彫刻・工芸 : 縦・横60cm以内

◆書 : 半切以内、縦作品のみ(額装) 積文添付

◆写真 : 全紙以下(額帳、額装)

【出品申込】 令和7年8月25日(月) 必着期限厳守

【出品料】 無料(今年度に限り)

【他県、遠方からの作品送付先】

〒926-0081 石川県七尾市西藤橋町1番地1

七尾高校美術室宛て ※9月10日 必着

\*注意事項\*

- ・作品に不可抗力の損害が生じても主催者は責任を負いません。
- ・作品の運搬費用は自己負担にてお願いします。但し他県、遠方からの出品の場合は返却費用のみ今年度より事務局で負担します(宅配便を利用)。
- ・会場となるのとしんギャラリーかわもへ作品を直接送られても受理できません。

### 会場、会期の変更について

令和6年度能登半島地震で被災した石川県七尾美術館の復旧を待ち、同館で開催の予定でしたが、今秋の開館後は同美術館主催事業の開催、続く年度末は在校生作品の展示が難しいため再検討した結果、9月中旬の同窓会総会に合わせ市内松物町の「のとしんギャラリーかわも」で開催することに変更させていただきます。展示スペースの関係から部門ごとに会期を前半と後半に分け、作品規格を見直し、例年通りの作品数



## 七尾高校同窓会オリジナルグッズ販売

七尾高校同窓会の活動へのご理解および支援の一助として、七尾高校同窓会オリジナルグッズ「半袖ポロシャツ(2種類)」と「マフラータオル」を販売しています。以下の各グッズの詳細および注文方法等をご覧ください。なお、収益の一部は、七尾高校同窓会の諸活動に充てさせていただきたいと存じます。

石川県立七尾高等学校同窓会会長 久保 聡

### 1 オリジナルグッズ

#### (1) 半袖ポロシャツ A



\*左袖と背中に印刷  
1枚 3,500円 [送料込み]  
サイズ: S・M・L・LL・3L

#### (2) 半袖ポロシャツ B



\*左袖のみ印刷  
1枚 3,500円 [送料込み]  
サイズ: S・M・L・LL・3L

#### (3) マフラータオル



【20cm×110cm】  
1枚 1,200円 [送料込み]

### 2 ご注文方法および振込先

ご注文は、フォームアドレスまたは QR コードにアクセスしてお申込みいただいた後、商品の代金を下記口座にお振込みください。ご注文とご入金の照会ができましたら商品を発送いたします。

フォームアドレス <https://forms.gle/7XEsq1BfpVkZ15vR6>



| 口座名義                 | 金融機関名         | 店番  | 口座番号         |
|----------------------|---------------|-----|--------------|
| 七高同窓会グッズ販売口座 会計 土井保潔 | のと共栄信用金庫本店営業部 | 001 | 普通預金 3118853 |



菊川 弘之 (きくかわ ひろゆき)  
石川県七尾市出身 (田鶴浜町立田鶴浜中学校卒業)  
1987年 日本大学国際関係学部卒業  
N Sトレーディング (株) 代表取締役社長  
日産証券インベストメント (株) チーフストラテジスト (取締役・兼任)  
日経CNBC、サンテレビ (キャッチプラス) など多数メディアに出演中

## 経験値の多さが人生を豊かにする

special interview

菊川 弘之 氏 (高35期)

大自然の脅威と諸行無常を痛感させられた能登地震が襲い、さらに人生の節目となる還暦を迎えた二〇二四年。そんな折、七高バレー部の先輩から「同窓会だよりへの執筆」の依頼が届いた。一度は「自分にはその資格がありません」と辞退したものの、「菊川君のような人生が、若い子たちに勇気を与えるんだよ」という先輩の言葉に背中を押され、「しくじり先生としての経験が少しでも役立つなら」と筆を取ることにした。

いざ書き始めると、人生はまさに「山あり、谷あり」。語り尽くせぬほどの出来事があり、文字数が足りない(笑)。かつて某映画監督から「作品にしてみたい」と冗談交じりに言われたほどの半生だ。しかし、結論はシンプル。「人生は、悪いことばかりではない」。山が高ければ谷は深い。若い頃は絶望的に思えたことも、数年経てば笑い話になることが多いものだ。人生は月の満ち欠けのように、

良いことと悪いことが巡るもの。くよくよ悩まず、大波小波を波乗りのように楽しんだ者勝ちなのだ。

また、人生で出会うさまざまな「縁」を大切にすることで、「強運」を引き寄せることができる。幸運は忘れた頃にやってくる。私自身は無神論者だが、これまでの半生で、一〇年・二〇年・三〇年・四〇年の節目に、神がかり的な「縁」に何度も恵まれた。「念ずれば通ず」という言葉の通り、田舎で働いていた多くの方々と共に仕事をする機会にも恵まれた。「良縁」は仕事に繋がり、巡り巡って子どもたちに還ってくることもあれば、損得関係なく幸福感を与えてくれたり、人生をより豊かにしてくれたりするものだ。

東京で浪人生活を始めた私は、劇画『空手バカ一代』に感化され、親の支援を受けながらも予備校には通わず、極真会の各道場へ朝から晩まで通った。肉体的な痛みによって漠然とした不安を紛らわす日々。同級生と競うためには「いかに死ぬか」しかないと、大きな勘違いをしていた時期でもあった。ニューヨーク大学に企業留学した際も、大学へはほとんど行かず空手三昧。全米大会での大怪我により高額な治療費の借金を抱え、さらに強制帰国命令を受けることとなった。しかし、この「空手」こそが人生のターニングポイントとなり、直接・間接的に幾度となく私を助けてくれた大きな財産となっている。

七高生にとって「学歴」は重要に感じるかもしれないが、実社



会ではそれが通用するのはせいぜい1年ほどだ。グローバル社会は、それほど甘くはない。もし狭い世界に閉じこもって生きるなら別だが、広い世界で戦おうとするならば、学歴だけにしがみついているのは勝負にならない。

受験の失敗、ブラック企業への入社、米留学からの強制帰国、命に関わる交通事故三回、熊殺し「ウィリー・ウィリアムス」も出場した全米空手大会での大怪我、子どもが生まれると同時に会社の経営破綻、一夜にして二〇億円の損失、一〇〇億円の契約キャンセル交渉、バツファロー牧場の原油採掘、ラスベガスで上限なしのテーブルでの勝負等々、ストレスで耳から血が噴き出しても、網膜剥離で失明の危機に陥っても、クリントン大統領夫妻に突撃しFBIに取り押さえられても、9・11で大切な友人を失っても、生は逆転できる。



どんな苦しい時代があっても、空手で培った修羅場を乗り越える力、そして運命的な縁のおかげで幸せな家庭を築き、中国で超VIP待遇を受け、上場企業グループの子会社社長となり、東大をはじめとした大学で若者たちを教え、ミス日本やミス東大、テレビ局の美人キャスターたちと楽しく仕事をする(笑) 人生が待っているのだと伝えたい。



若い頃の失敗は、どんな素晴らしい。大谷翔平選手のように、昭和の価値観では想像もできなかった可能性が若者たちには広がっている。まずは、広い世界へ飛び出してほしい。

学歴や経歴だけを見れば「落ちこぼれ」にすぎない私に、チャンスを与えてくれた無数の縁には感謝の気持ちしかない。本職であるマーケティング関係の仕事以外に、この四月から一年間、NHK『ランスマ倶楽部』のレギュラー出演が決まった。能登復興のために走ることを決意した百kgの身体。一年後には、還暦を過ぎててもなお、スマートな姿で「まだまだやれる!」と証明したい。



久保 亜希子 (くぼ あきこ)  
石川県七尾市出身〔七尾市立東部中学校卒業〕  
2006年 京都女子大学文学部英文学科卒業  
元・北陸朝日放送アナウンサー  
現在はアナウンサー×ディレクター×広報・PR  
過去出演番組は朝日放送『せのぶら!』、サンテレビ『日曜夕刊』『きらり★けいざい』、北陸朝日放送『ゆうどきLive』『HABスーパーJチャンネル』など多数。

## 伝え手として生きる

～七高時代に選んだ道～

special interview

久保 亜希子 氏 (高54期)

### 高校時代の思い出

私の高校時代は、アナウンサーになるという夢が、明確な目標に変わった3年間でした。

放送局に所属していた高校2年の春、これで結果が出なければ違う道へ進もう!と決めて臨んだ「NHK杯全国高校放送コンテスト石川県大会」のアナウンス部門で最優秀賞を受賞し、現役のアナウンサーに直接指導いただいたり、貴重なお話を伺う機会に恵まれました。仲間たちと切磋琢磨しながら、その後の新人大会や3年春の同コンテスト、総合文化祭などを通して取材の面白さや伝えることの奥深さを学んだことが、現在に繋がっています。友人たちや先生方の応援・サポートがとても励みになりましたし、アナウンサーになってから同級生や先輩・

後輩と仕事の現場で一緒にいた時は感無量でした。



放送局に所属していた高校時代  
(NHK放送センター前にて 写真中央)

### アナウンサーとなるきっかけ、および現在の活動、今後の目標

私は、ピアノの発表会に出演した際、スポットライトが当たる舞台以上に、大道具や様々な機材が並ぶ舞台裏や舞台袖、楽屋などのバックステージにワクワクするような子どもでした。

物事の「表」だけでなく「裏」も取材し、普段はなかなかスポットライトが当たらない「魅力」を見つけて照らしたい、という思いが根底にあり、アナウンサーを志すようになりました。

キャリアのスタートは、CATVのアナウンサーです。カメラと三脚を担いで現場を飛び回り、企画から取材、撮影、編集までを担



う記者・ディレクターとしても従事し、報道や情報番組、スポーツ中継、1時間半のロングインタビュー番組などに出演。

その後、フリーアナウンサーとして関西を拠点に活動した後、北陸朝日放送のアナウンサーに。

報道・情報番組のMCやキャスター、中継リポーターとしてはもちろん、記者・ディレクター経験を生かして自ら特集やコーナー制作にも積極的に取り組みました。

これからはアナウンサーでなくとも誰もが発信者となり、伝え手となる時代。

「アナウンサー」の枠を超えて、もっと広い意味での「伝える」仕事をしていきたいと考えているようになり、スタートアップ企業のひとり広報に転職し、上京。

さらにブランディングやマーケティングの知識を深め、幅広いクライアントの案件に携わるため、R.P会社へ移籍し、PRプランナーとして企業のSNS運用のほか、イベントの企画から運

営、映像ディレクション、メディアリレーションまで幅広く経験を積みました。

現在は独立し、10年以上続いている後進の育成(アナウンススクール講師)や司会・ナレーションなどを続けながら、広報・PRとしてSNS運用や映像ディレクションを手がけています。さらに、今年からはセレクトブランドのディレクターとして、ブランディングに携わりながら、YouTubeのライブコマース配信にも挑戦中です。

今後も、これまでの培った経験やスキルを掛け合わせ、日々学びながら「ゼロイチ」を生み出す環境のなかで進化し続けて行きたいと考えています。

### 在校生へのメッセージ

ひとかけらの勇気をもって行動すれば、道はひらけます! 他人と比べるよりも、自分を信じる自分が最強ですよ☆



七尾高校でロケがありました

# 母校は今!!



遠足 / 4月



総体・総文壮行式 / 5月



校内球技大会 / 6月



七高祭 (文化祭) / 8月



七高祭 (体育祭) / 9月



校内球技大会 / 10月



修学旅行 / 10月

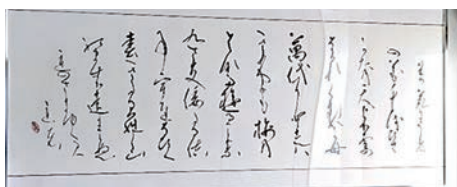


校内体操大会 / 2月

## ご 寄 贈

(令和6年6月～令和7年4月)

- 杉本 亮子 (高9) 自書『梅の花』(令和4年 第9回日展(書)入選)
- 甘田 外成 (高13) 寄付金(理数教育支援)
- 竹内 淳一 (高25) バドミントン シャトルコック 20ダース
- 登美 鈴恵 (高22) 紙芝居『アマモ場たんけん』 1組
- 松村 重伸 (高25) [脚本・絵/登美鈴恵 絵指導/松村重伸]
- 杉原 米和 (高27) 『恭三の父 乳の匂ひ 加能作次郎秀作集』(りょうゆう出版) 1冊
- 竹澤 悦子 (高33) 自作ソロアルバム『へちま』(ジパングレーベル) CD 1枚  
 自著『歌と三味線のための『へちま』』 1冊
- 中澤 賢 (高34) 『The Oxford English Dictionary』(Oxford University Press) 16冊  
 『Time-life educational systems visual dictionary』(Oxford University Press) 2冊
- 中町 綾子 (高42) 『拡大する情報空間と放送メディアの未来』民放連研究所客員研究員会[編] 1冊

杉本亮子氏  
ご寄贈の書

## 大学合格者数

(令和7年4月現在)

| 国立大学      | 合格者数 |
|-----------|------|
| 京 都 大     | 1    |
| 北 海 道 大   | 1    |
| 東 北 大     | 2    |
| 大 阪 大     | 2    |
| 東京科学大     | 3    |
| 神 戸 大     | 3    |
| 群 馬 大     | 2    |
| 千 葉 大     | 1    |
| 横 浜 国 立 大 | 2    |
| 上 越 教 育 大 | 4    |
| 新 潟 大     | 8    |
| 富 山 大     | 20   |
| 金 沢 大     | 30   |
| 奈良女子大     | 1    |
| そ の 他     | 13   |
| 合 計       | 93   |

| 公立大学      | 合格者数 |
|-----------|------|
| 富 山 県 立 大 | 2    |
| 石川県立看護大   | 6    |
| 石 川 県 立 大 | 3    |
| 金沢美術工芸大   | 1    |
| 公 立 小 松 大 | 6    |
| そ の 他     | 22   |
| 合 計       | 40   |

| 私立大学      | 合格者数 |
|-----------|------|
| 早 稲 田 大   | 4    |
| 慶 応 大     | 1    |
| 中 央 大     | 6    |
| 東京理科大     | 5    |
| 法 政 大     | 6    |
| 明 治 大     | 8    |
| 青 山 学 院 大 | 5    |
| 同 志 社 大   | 5    |
| 立 命 館 大   | 22   |
| 関 西 学 院 大 | 5    |
| そ の 他     | 315  |
| 合 計       | 377  |

## SSH 通信

## SSH 21年間の成果を全国に発信

七尾高校は文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」に指定され、国際的に活躍できる科学技術系人材の育成を目的として、特別な授業や行事を実施しました。先導的的改革Ⅰ期の3年間では「先導的的改革型」の指定校として、これまで5期21年間の成果を全国に発信し、普及に努めてきました。



シンガポール国際数学・情報チャレンジ(5/20～5/24)



マリンサイエンス(7/19～7/20)



融合プロジェクト発表会(7/18)



関西サイエンスツアー(8/6～8/7)



SSH生徒研究発表会(8/7～8/8)



高校生バイオサミット in 鶴岡(8/21～8/23)



サイエンスツアー(10/15～10/17)



県SSH生徒研究発表会(1/22)

## NSH (いしかわニュースーパーハイスクール) グローバルな課題への取組

## 課題研究 BII ビジネスプラン

5月8日に開催されたビジネスプラン説明会では、日本政策金融公庫北陸創業支援センターの松宮俊隆所長にビジネスプランについてご講演いただき、七尾カルテット(七尾市の創業支援組織)の方々から作成中のプランに対する助言をいただきました。

7月18日には中間発表会を行い、能登を活性化させるためのビジネスプランについて、ポスターセッション形式で発表しました。金沢大学教授の坂本二郎様、金沢工業大学教授の坂本宗明様をはじめ、地元企業の方などから、さまざまな視点から意見や質問が出され、探究の成果と今後の活動の展望について活発な議論が交わされました。



## NSH キャンプ

1月25～26日に石川県内のNSH校の生徒が集まり、SDGsをテーマにした2日間の英語での探究活動が行われました。七尾高校からは生徒8名が参加しました。



## イギリス研修

文系フロンティアコース2年生は、10月7日(月)から9日間のイギリス海外研修に行ってきました。ビッグベン、大英博物館の訪問、ストラトフォードでの散策など、イギリスの空気を肌で感じながら、見事な建物や街並みを見た生徒たちは、憧れのイギリスに来られたことを実感している様子でした。ロンドン大学では、準備してきたビジネスプランについてプレゼンテーションを行い、大学生とその内容について英語でディスカッションを行いました。



## 創立記念講演会

モデル・タレント  
アンミカ氏

演題  
『ポジティブ思考で  
未来を拓く』



令和6年10月30日、モデル、タレント業などで大活躍中のアンミカさんが、鮮やかな真っ赤な衣装に身を包み登場すると、場内は拍手と歓声に包まれ、ウォーキングを披露したときは思わずどよめきが起きました。

幼少期に自分の見た目に対するコンプレックスを抱えていた彼女をポジティブ思考へと変えていったのは、母親からの助言だったそうです。それは、本当の美人は「一緒にいて心地よい人」であり、次の四つのこと守ることです。

- ①相手の目を見て話す。
- ②聞き上手になる。
- ③姿勢を良くする。
- ④口角を上げる。

実際に姿勢がよくなる座り方のレッスンも行われ、来場した皆様で挑戦しました。また、変えられない他人と過去に悩むよりも、今の自分を変え、未来を変えていくことが大事であるとの話もありました。

この講演会を通して、アンミカさんの眩しいほどのポジティブな生き方に触れ、生徒にとっても保護者にとっても自分の生き方を見つめ直す良い機会となりました。



4 回戦 七尾 0－3 遊学館  
女子団体 ベスト 8  
3 回戦 七尾 0－3 金沢商業  
■第52回北信越高等学校選抜卓球大会  
女子シングルス 予選リーグ敗退 澤野優菜

#### 【バレーボール部】

■石川県バレーボール祭（高校の部）  
男子 1 回戦 七尾 1－2 小松工業  
女子 1 回戦 七尾 0－2 小松明峰  
■石川県高等学校総合体育大会バレーボール競技  
男子 ベスト 16  
決勝トーナメント 2 回戦 七尾 0－2 小松明峰  
女子 ベスト 16  
決勝トーナメント 2 回戦 七尾 0－2 鵬学園  
■第77回全日本バレーボール高等学校選手権大会  
石川県大会  
男子 予選 2 回戦  
七尾 0－2 金沢市工  
女子 ベスト 16  
県大会 1 回戦 七尾 2－0 小松大谷  
■石川県高等学校バレーボール新人大会  
男子 決勝トーナメント  
1 回戦 七尾 0－2 小松工業  
女子 ベスト 8  
決勝トーナメント  
準々決勝 七尾 0－2 金沢学院

#### 【バスケットボール部】

■第50回張江杯石川県高等学校バスケットボール大会  
男子 準々決勝 七尾 53－89 金沢市工  
女子 2 回戦 七尾 39－91 金沢西  
■石川県高等学校総合体育大会バスケットボール競技  
男子 ベスト 8  
準々決勝 七尾 58－88 金沢  
年間優秀選手賞 南陽希  
女子 2 回戦 七尾 57－81 金沢二水  
■第77回石川県高等学校バスケットボール選手権大会  
女子 3 回戦 七尾 52－71 金沢西  
■石川県高等学校バスケットボール新人大会  
男子 3 回戦 七尾 56－88 北陸学院  
【七尾大会出場】  
女子 2 回戦 七尾 23－111 航空石川

#### 【ソフトテニス部】

■石川県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技  
男子 団体 ベスト 8  
準々決勝 七尾 0－2 金沢学院  
個人 ベスト 16  
塚本曇匠、岩岸煌真【北信越大会出場】  
女子 団体  
2 回戦 七尾 0－3 能登  
個人 ベスト 8  
新谷心、山本希恵【北信越大会出場】  
干場真歩、崎田悠月【北信越大会出場】  
■北信越高等学校体育大会  
第66回北信越高等学校ソフトテニス選手権大会  
男子個人 2 回戦進出  
塚本曇匠、岩岸煌真  
女子個人 3 位  
新谷心、山本希恵【インターハイ出場】  
2 回戦敗退 干場真歩、崎田悠月  
■全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技  
全日本高等学校ソフトテニス選手権大会  
女子個人 2 回戦進出  
新谷心、山本希恵  
■石川県高等学校ソフトテニス 1 年生研修大会  
女子 3 位 打越文奈、崎田悠月  
3 位 宮本ゆず、山本希恵  
■国民スポーツ大会ソフトテニス競技  
少年女子 石川県 4 位  
山本希恵と能登高校の選手 4 名  
■石川県高等学校ソフトテニス新人大会  
男子 団体 3 位  
個人 ベスト 8 畠山総介、岩岸煌真  
ベスト 8 鍋島凜、堀井燈哉  
【石川県高等学校選抜ソフトテニス大会出場】  
女子団体 3 位  
個人 ベスト 8 干場真歩、山本希恵  
ベスト 8 宮本ゆず、崎田悠月  
【石川県高等学校選抜ソフトテニス大会出場】  
■石川県高等学校選抜ソフトテニス大会  
男子 個人 ベスト 8 畠山総介、岩岸煌真  
【北信越高等学校選抜ソフトテニス大会出場】  
女子団体 3 位

個人 ベスト 8 打越文奈、山本希恵  
ベスト 8 宮本ゆず、崎田悠月  
【北信越高等学校選抜ソフトテニス大会出場】

#### 【バドミントン部】

■第51回能登地区高等学校バドミントン選手権大会  
男子団体 優勝  
中森圭吾、山澤完太、高尾英志、河原佑樹  
輪瀬悠士、曾原楓雅、嘉治優真  
ダブルス 優勝 高尾英志、曾原楓雅  
シングルス 優勝 高尾英志  
女子団体 準優勝  
笹弥真帆、小中真凛、中田光咲、西山茉佑  
村田咲笑、中川藍羽  
シングルス ベスト 4 西山茉佑  
■石川県高等学校総合体育大会バドミントン競技  
女子団体 ベスト 8  
笹弥真帆、小中真凛、中田光咲、西山茉佑  
村田咲笑、中川藍羽、木森花  
■石川県高等学校新人バドミントン選手権大会  
女子団体 ベスト 8  
小松良好、奥原世梨、村田咲笑、木森花  
小中詩那、中川藍羽



#### 【水泳部】

■石川県高等学校総合体育大会  
第77回石川県高等学校水泳競技大会 兼  
第57回北信越高等学校水泳競技大会予選会  
男子 50m自由形 1 位 大江竜生【北信越大会出場】  
100m自由形 1 位 大江竜生【北信越大会出場】  
100m自由形 8 位 高匡一郎【北信越大会出場】  
4×100mフリーリレー 6 位  
土屋風斗、高田蒼大、高橋空汰、高匡一郎  
【北信越大会出場】  
4×100mメドレーリレー 7 位  
土屋風斗、高田蒼大、高橋空汰、高匡一郎  
【北信越大会出場】  
■北信越高等学校体育大会  
第57回北信越高等学校選手権水泳競技大会 兼  
第92回日本高等学校選手権水泳競技大会予選会  
男子 50m自由形 優勝 大江竜生【インターハイ出場】  
100m自由形 3 位 大江竜生【インターハイ出場】  
100m自由形 30 位 高匡一郎  
4×100mフリーリレー 25 位  
土屋風斗、高田蒼大、高橋空汰、高匡一郎  
4×100mメドレーリレー 27 位  
土屋風斗、高田蒼大、高橋空汰、高匡一郎  
■全国高等学校総合体育大会水泳競技大会  
第92回日本高等学校水泳競技大会  
50m自由形 39 位 大江竜生  
100m自由形 20 位 大江竜生

#### 【SSC】

■第48回全国高等学校総合文化祭  
自然科学部門（生物部門）文化庁長官賞  
垣内颯真、林瑞樹、増野悠美、奥野幹生  
■第13回高校生バイオサミットin鶴岡  
計画発表部門 優秀賞  
延田考聡、竹澤翔、山口色葉  
審査員特別賞 延田考聡  
■日本地球学会高校生ボスターセッション  
最優秀ボスター賞  
浅田遥音、金沢寧々、田中竣  
環日特別賞  
坂口友菜、谷口瑛音、干場智貴、山崎茉奈  
■第15回坊ちゃん科学賞研究論文コンテスト  
入賞 柴葉月、中山絢乃、松原慶治、村山昂輝  
佳作 鍋島琴美、秦咲空、羽多麻尋、松田愛加  
■2024グローバルサイエンティストアワード  
審査員特別賞  
北谷内結月、竹澤翔、山口色葉、山端美潤  
■環境DNA学会中高生オンライン発表会

優秀賞  
浅田遥音、金沢寧々、田中竣、延田考聡  
竹澤翔、山口色葉

#### 【吹奏楽部】

■第72回石川県吹奏楽コンクール  
高等学校B部門 金賞  
■第59回石川県アンサンブルコンテスト口能登  
支部大会  
打楽器四重奏 支部優勝 金賞代表  
赤池知哉、青木颯舞、諸優希、川崎陽香

#### 【放送局】

■第44回石川県高等学校総合文化祭  
第71回NHK杯全国高校放送コンテスト石川大会  
アナウンス部門 入選 大場智仁  
朗読部門 入選 磯辺悠生  
創作ドラマ部門 優秀賞  
■全国高校放送コンテスト  
創作テレビドラマ部門 出場  
徳舩康之介、竹藤遼子  
■石川県高校放送コンテスト新人大会  
朗読部門 入選 福亀夏美

#### 【美術部】

■第44回石川県高等学校総合文化祭高等学校総合美術展  
美術工芸部門 佳作 近間光紗  
佳作 高山莉空  
■第24回北陸三県 絵画・デザインハイスchool選手権  
佳作 岩本真和花  
■第36回読書感想画中央コンクール  
石川県コンクール（高等学校の部）  
指定読書の部  
優秀賞 金田純佳（県代表）【全国コンクール出品】  
優秀賞 正武田大悟

#### 【郷土研究部】

■第48回全国高等学校総合文化祭  
郷土研究部門（歴史部門） 優秀賞  
一花綾哩、佐竹十和子、前田暖夢、増田朋香  
高崎京香、室木歌奏  
■秋季合同研究発表会（県新人大会関連行事）  
歴史部門 最優秀賞  
増田朋香、藤島未規、高崎京香、宮崎史郎  
室木歌奏、三谷公志

#### 【文芸部】

■第43回創作研修会  
■第48回全国高等学校総合文化祭  
文芸部門（詩部門） 丹後真緒  
■高校生のための文芸合同ワークショップ  
■高文連文芸部主催文芸作品コンクール  
詩部門 優良 中村美晴  
佳作 舩田理央  
短歌部門 佳作 中村美晴  
散文部門 優良 徳舩康之介  
佳作 神保咲良  
高澤宇麗

#### 【書道部】

■第44回石川県高等学校総合文化祭  
高等学校総合美術展  
書道部門 優秀賞 高木悠衣  
佳作 因幡心泉  
佳作 木下碧  
■第48回全国高等学校総合文化祭  
書道部門 高木悠衣

#### 【弁論部】

■第44回石川県高等学校総合文化祭弁論部門  
第73回石川県高等学校「私達の主張」発表会  
優秀賞 由久保有弓

#### 【写真部】

■第44回石川県高等学校総合文化祭  
高等学校総合美術展  
写真部門 佳作 田島新捺

#### 【吟詠剣詩舞】

■第48回全国高等学校総合文化祭  
吟詠剣詩舞部門  
生徒交流会・舞台発表 参加  
前濱来瞳、大貝莉子

# 令和6年度 主な部活動大会成績

県大会は、団体成績は最終結果、個人成績はベスト8まで、北信越大会は最終結果を記載しております。

## 【野球部】

### ■第150回北信越地区高等学校野球石川県大会

2回戦 七尾1－3 輪島

### ■第106回全国高等学校野球選手権石川大会

1回戦 七尾0－6 遊学館

## 【陸上競技部】

### ■石川県総合体育大会陸上競技能登地区記録大会 (例年は能登地区予選会)

男子

|         |    |                                  |
|---------|----|----------------------------------|
| 100m    | 2位 | 宮川瑛士                             |
| 100m    | 3位 | 服部翔太                             |
| 400m    | 1位 | 長谷佑輔                             |
| 5000m   | 1位 | 大森友敬                             |
| 走幅跳     | 1位 | 宮川瑛士                             |
| 4×100mR | 2位 | 七尾高校A<br>服部翔太、長谷佑輔、岩根光優、<br>宮川瑛士 |

女子

走幅跳 3位 毛利彩音

### ■第85回石川県陸上競技選手権大会

男子少年B

3000m 4位 大森友敬

女子

ハンマー投 4位 立川綾音

ハンマー投 7位 松江珠里

棒高跳 7位 岡田美星

### ■第76回石川県高等学校陸上競技対校選手権大会

男子

1500m 5位 大森友敬【北信越大会出場】

5000m 6位 大森友敬【北信越大会出場】

走幅跳 6位 宮川瑛士【北信越大会出場】

女子

棒高跳 3位 岡田美星【北信越大会出場】

ハンマー投 3位 立川綾音【北信越大会出場】

ハンマー投 6位 松江珠里

三段跳 6位 毛利彩音

### ■第63回北信越高等学校陸上競技対校選手権大会

男子

1500m予選2組 11位 大森友敬

5000m 27位 大森友敬

走幅跳 28位 宮川瑛士

女子

棒高跳 15位 岡田美星

ハンマー投 16位 立川綾音

### ■第78回国民スポーツ大会陸上競技石川県予選会

男子少年B

100m(15日) 3位 宮川瑛士

100m(21日) 3位 藤澤蓮

3000m 2位 大森友敬

走幅跳 2位 宮川瑛士

### ■第66回石川県高等学校新人陸上競技大会

男子 総合5位

1500m 1位 大森友敬【北信越新人大会出場】

5000m 2位 大森友敬【北信越新人大会出場】

走幅跳 2位 宮川瑛士【北信越新人大会出場】

三段跳 2位 宮川瑛士【北信越新人大会出場】

400m 7位 長谷佑輔

4×400mR 5位  
長谷佑輔、延田考聡、大森友敬、宮川瑛士

棒高跳 6位 諸谷瑛太

棒高跳 7位 延田考聡

円盤投 6位 平田光

ハンマー投 8位 平田光

八種競技 6位 延田考聡

女子

棒高跳 4位 山口由珠【北信越新人大会出場】

ハンマー投 1位 松江珠里【北信越新人大会出場】

棒高跳 5位 山本葉月

やり投 8位 矢田葉音

七種競技 8位 矢田葉音

### ■第29回北信越高等学校新人陸上競技大会

男子

1500m 1位 大森友敬【入賞】

5000m 4位 大森友敬【入賞】

走幅跳 10位 宮川瑛士

三段跳 9位 宮川瑛士

女子

棒高跳 NM 山口由珠

ハンマー投 10位 松江珠里

### ■第88回石川県男子駅伝競走選手権大会 兼

### ■第75回全国高等学校男子駅伝競走選手権大会

石川県予選会

輪島、鵬学園、羽咋との合同でオープン出場

3区 大森友敬

### ■第43回能登ジュニア陸上競技選手権大会

男子

200m 2位 宮川瑛士

800m・1000m・1500m・3000m

1位 大森友敬

走幅跳 3位 宮川瑛士

三段跳 2位 宮川瑛士

円盤投 2位 平田光

女子

ハンマー投 2位 松江珠里

円盤投 3位 松江珠里

### ■第79回石川県耐寒継走大会七尾・中島大会

男子 高校1部 5位 七尾高校

坂井榮寿、山邊怜央、大森友敬、諸谷瑛太

(予選区間賞)

女子 一般・高校 2位 七尾高校

山口由珠、矢田葉音、山本葉月、松柳湖愛

(山本区間賞)

## 【剣道部】

### ■石川県高等学校春季剣道大会

男子団体 ベスト16

田邊太陽、番坂昊生、土島英士、藤田裕斗

木全涼輔、長谷川蒼生、梶はじめ

女子団体 ベスト8

泉咲希、廣澤聖菜、奥本千琳、萬谷実央

上田りあら、蓮本望乃

### ■石川県高等学校総合体育大会剣道競技

男子団体

1回戦 七尾0－2 羽咋工業

女子団体 3位【北信越大会出場】

七尾5－0 遊学館

七尾0－0 金沢二水 ※代表戦

七尾0－0 羽咋 ※代表戦

泉咲希、廣澤聖菜、奥本千琳、萬谷実央

上田りあら、蓮本望乃

### ■北信越高等学校剣道大会

女子団体 予選リーグ敗退

泉咲希、廣澤聖菜、萬谷実央、奥本千琳、

蓮本望乃、上田りあら、北谷内結月

### ■石川県高等学校新人剣道大会

男子団体

1回戦 七尾1－2 羽咋

女子団体 ベスト8

蓮本望乃、上田りあら、北谷内結月

### ■石川県高等学校剣道選抜大会

女子団体 3位

2回戦 七尾0－5 金沢

(泉咲希、廣澤聖菜、萬谷実央、奥本千琳、

蓮本望乃、上田りあら、北谷内結月)

## 【柔道部】

### ■石川県高等学校総合体育大会柔道競技

男子個人戦 73kg級

5位 大島寛次郎【北信越大会出場】

### ■北信越高等学校体育大会

### ■第65回北信越高等学校柔道大会

男子個人戦 73kg級

ベスト16 大島寛次郎

## 【空手道部】

### ■石川県高等学校総合体育大会空手道競技

男子団体組手 3位

団体形 3位【北信越大会出場】

### ■北信越高等学校体育大会空手道競技会

男子団体形 ROUND 1敗退

丸山陽平、鳥木晴渡、平野立季

### ■石川県高等学校新人大会

男子団体組手(三人制) 2位【北信越大会出場】

女子団体組手(五人制) 3位【北信越大会出場】

団体形 3位【北信越大会出場】

個人形 ベスト8 上杉咲希【北信越大会出場】

### ■北信越高等学校空手道新人大会

男子団体組手(三人制)

七尾1－2 松本県丘 1回戦敗退

女子団体組手(五人制)

七尾1－2 松本県丘 1回戦敗退

女子団体形 ROUND1敗退

## 【サッカー部】

### ■高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ 2024石川

3部リーグ 5位

### ■石川県高等学校総合体育大会サッカー競技

男子

ベスト16 3回戦 七尾0－9 小松大谷

女子

1回戦 七尾0－14 日本航空石川

### ■第33回全国高等学校女子サッカー選手権大会

準決勝 七尾0－20 日本航空石川

### ■石川県高等学校新人体育大会サッカー競技

女子 4位(5チーム総当たりリーグ戦)

1日目 七尾0－4 星稜

七尾0－15 日本航空石川

2日目 七尾3－0 野々市明倫

七尾0－2 金沢伏見・金沢学院

### ■第103回全国高校サッカー選手権大会

石川県大会

男子

2回戦 七尾0－8 日本航空石川

### ■石川県高等学校新人体育大会サッカー競技

男子(予選リーグDブロック) 2位通過

七尾3－0 飯田

七尾0－2 遊学館

七尾7－2 羽咋

(決勝等トーナメント) ベスト16

1回戦 七尾0－3 日本航空石川

## 【ボート部】

### ■石川県高等学校総合体育大会ローイング競技

男子

舵手付きクォドルブル 2位

【北信越大会出場】

飯田真悟、坪田泰城、大石蓮太

田中康貴、木下聖山

女子

ダブルスカル 2位 吉久真央、櫻井風歌

【北信越大会出場】

舵手付きクォドルブル 2位

【北信越大会出場】

西村萌里、政氏美喜、中嶋あこ

羽石真奈美、輪瀬ゆづな

### ■第69回中日本レガッタ

女子 ダブルスカル

石川選抜 2位(33クルー中)

羽石真奈美、押味美空(津幡高)

### ■第45回北信越国民スポーツ大会ローイング競技

少年女子 ダブルスカル

石川選抜 2位(5クルー中)

羽石真奈美、押味美空(津幡高)

【第78回国民スポーツ大会出場権獲得】

### ■第78回国民スポーツ大会ローイング競技

少年女子 ダブルスカル

石川選抜 8位(15クルー中)

羽石真奈美、押味美空

### ■石川県高等学校新人体育大会ローイング競技

男子

シングルスカル 2位 木下聖山

女子

ダブルスカル 1位 吉久真央、櫻井風歌

舵手付きクォドルブル 3位

高橋優菜、細徑真央、川下真央

國分咲希、出雲珠宙

### ■全国高校選抜競漕大会中部地区予選会

男子 シングルスカル 7位 木下聖山

【北信越5位】

女子 ダブルスカル 敗者復活戦敗退

吉久真央、櫻井風歌

## 【卓球部】

### ■石川県高等学校総合体育大会卓球競技

男子団体 ベスト8

4回戦 七尾2－3 金沢

ダブルス ベスト8 大石悠仁、山本惺風

女子団体

1回戦 七尾0－3 金沢泉丘

### ■第76回中部日本卓球選手権大会

一般男子シングルス 大石悠仁

ダブルス 大石悠仁、山本惺風

ジュニア男子シングルス 山本惺風

ジュニア女子シングルス 山田美海

### ■石川県高等学校新人卓球大会

男子団体 ベスト8



## 能登半島地震後の

## 復興支援と

## ボランティア活動

【令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月】

## 能登半島地震 JFA プロジェクト

4 月 15 日・16 日

講師として元サッカー日本代表永島昭浩氏、同じく武田修宏氏、北京五輪ソフトボール金メダリスト坂井寛子氏が来校しました。生徒は、体育の授業で運動の楽しさを実感するとともに、世界の檜舞台で活躍してきたトップアスリートから激励を受け、エネルギーがみなぎっている様子でした。



## 能登未来トーク

「これからの能登を考える」

4 月 20 日

地元住民と本校生徒の約 100 名が参加し、復興に向けた様々な力強い意見が出されました。



## ASOBO!! ボランティア

5 月 19 日

本校生徒 12 名が石崎保育園で開催されたイベント「ASOBO!!」にボランティアとして参加しました。

地域のお子さんからご年配の方まで、老若男女さまざまなかたが訪れ、笑顔溢れるイベントとなりました。



## 仮設住宅×緑のカーテン ボランティア

6 月 9 日

NPO 法人緑のカーテン応援団主催のプロジェクトに本校生徒 12 名が参加し、ネットの取り付けから苗の植え付けまでの作業を行いました。



## 震災復興支援事業

くまモン来校

8 月 8 日

熊本県営業部長 兼 幸せ部長「くまモン」が来校し、踊ったり、写真を撮ったり、楽しくふれあうことができ、生徒たちは感激していました。



## なでしこサッカー

能登半島エールプロジェクト

8 月 5 日～8 日

本校女子サッカー部は、1 日目に兵庫県庁と防災センターを訪れ、2 日目にサッカー教室に参加し、プロ選手とプレイすることができました。

世界津波の日 2024  
高校生サミット in 熊本

10 月 23 日～24 日

本校生徒 3 名が参加し、能登の創造的復興に向けたプランを国内外に発信しました。





能登半島地震で被災した高校生に  
元気・希望・感動を届けようのコン  
セプトのもと、日本テレビ系音楽の  
祭典「ベストアーティスト2024」  
において、本校吹奏楽局とアイドル  
グループNiziUが紡ぐ希望のス  
ペシャルコラボレーションが実現し、  
放送されました。

吹奏楽×NiziU  
スペシャルコラボレーション

11月30日



宮城県多賀城高等学校で行われ、  
本校生徒4名が参加しました。グ  
ループワークでは防災減災のあり方  
について議論を深め、多賀城高校の  
仮設住宅や津波避難道路の見学を通  
じて防災の実現を体験しました。ポ  
スターセッションでは、全国各地の  
生徒が探究活動の成果を発表し、今  
後の研究に活かせる知見を得ました。

3・11メモリアル  
“Reidita”ミーティング  
2024

1月31日～2月1日

## 能登半島地震に係るご支援のお願い

能登半島地震で被災した七尾高校生および七尾高校を支援するため「七尾高校支援する会」を七尾高校同窓会とPTAが協力して設立し、支援金を募集してまいりました。

しかしながら、依然として能登は復旧・復興の途上にあり、母校も同様の状況です。引き続き皆様からのご支援・ご協力をお願いいたします。

### (1) 支援金の振込先

- ・口座名義 七尾高校支援する会 会計 土井 保潔
- ・金融機関名 のと共栄信用金庫 本店営業部
- ・口座番号 普通預金 3117776

口座名義のカナは「ナナオコウコウシエンスルカイカイケイツチヤスキヨ」  
金融機関名のカナは「ノトキョウエイシンヨウキンコホンテンエイギョウブ」

### (2) お振込みされた方の情報をお知らせください。\*必須

下記URLまたは右のQRコードより入力、送信してください。  
<https://forms.gle/4QhYMBLXH1KSZc3x5>

### (3) 支援金の用途について

学習支援、部活動支援、卒業式関係、災害関連イベント参加助成など。

### (4) 支援金の集計額について

4月30日(水)現在、10,560,588円の支援金を受付いたしました。  
全国から心温まるご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

### (5) 支援金をお寄せいただいた方は、掲載の許可をいただいた方を同窓会ホームページに掲載しております。

### (6) 支援金の税法上の取扱い

寄付金控除等の対象にはなりませんので、ご了承ください。



マイクロバス・ワゴン車の購入及び運用補助



ご支援に関するお問い合わせ

電話：七尾高校（同窓会）0767（52）3376

七尾高校（PTA）0767（52）3187

（令和6年4月～令和7年3月）

ご協力いただき、ありがとうございました。

[illegible]

|     |     |     |    |    |     |     |    |    |    |    |     |     |     |     |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |     |     |    |    |     |     |     |     |     |    |    |
|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 宮森  | 岡部  | 真館  | 林  | 中村 | 田中  | 清水  | 工口 | 若尾 | 吉島 | 山下 | 長谷  | 三ツ矢 | 堀内  | 塩村  | 江田  | 山崎 | 新保 | 木津 | 柿島 | 菊地 | 小川 | 大森 | 吉田 | 吉田 | 吉田 | 山崎 | 富田 | 竹内  | 落合 | 盛本 | 山本 | 山本  | 松村 | 岩島 | 西井  | 中村  | 辻  | 竹田 | 小牧  | 義本  | 木原  | 小川  | 北原  |    |    |
| 千明  | ゆかり | 藤夫  | 松喜 | 勇一 | 和彦  | 弘子  | 祐実 | 稔  | 孝  | 繁夫 | 繁之  | 矢律子 | 敬   | 美保子 | 裕美子 | 弘美 | 康彦 | 英吉 | 潔  | 明子 | 幸彦 | 喜弘 | 一秀 | 正信 | 正信 | 一秀 | 敏秋 | 淳一  | 泰明 | 芳久 | 寛  | 由起子 | 重伸 | 輝夫 | 武秀  | イツ子 | 隆男 | 淳一 | 左絵  | 定義  | 浩二  | 正弘  |     |    |    |
| 松本  | 松元  | 深田  | 長谷 | 年代 | 寅松  | 志寒  | 蔵  | 川島 | 竹内 | 新崎 | 赤崎  | 千場  | 村田  | 堀内  | 島山  | 中村 | 谷  | 桜井 | 北原 | 日月 | 淑恵 | 卓志 | 良則 | 健樹 | 昌子 | 琴風 | 明  | 雅彦  | 真一 | 正悦 | 裕文 | 正夫  | 三代 | 朋之 | 加津美 | 岳子  | 聡  | 晋  | 美智子 | 嘉美  | 哲史  | 守   | 正典  |    |    |
| 伸   | 一郎  | 勇   | 行祥 | 豊  | 正寛  | 春夫  | 大介 | 純一 | 麗子 | 純一 | 敏之  | 恵美子 | 富士夫 | 仲秀  | 収一  | 弘司 | 博善 | 芳久 | 智  | 良彦 | 淑恵 | 卓志 | 良則 | 健樹 | 昌子 | 琴風 | 明  | 雅彦  | 真一 | 正悦 | 裕文 | 正夫  | 三代 | 朋之 | 加津美 | 岳子  | 聡  | 晋  | 美智子 | 嘉美  | 哲史  | 守   | 正典  |    |    |
| 石井  | 政谷  | 広田  | 原  | 橋本 | 中山  | 高木  | 坂本 | 牛島 | 鮎目 | 上谷 | 堀内  | 佐竹  | 安田  | 米田  | 阿折  | 山崎 | 水竹 | 升屋 | 藤波 | 森元 | 鳥畑 | 多根 | 高木 | 谷  | 品川 | 坂江 | 瀬戸 | 山口  | 菊盛 | 川谷 | 柿島 | 大島  | 内山 | 内田 | 浅村  | 大門  | 坪井 | 玉川 | 菊谷  | 門木  | 山本  | 山本  |     |    |    |
| 久美子 | 英樹  | 泰   | 卓二 | 敏秀 | 均   | 作之  | 康彦 | 孝和 | 剛  | 哲也 | 克則  | 尚   | 充代  | 昇司  | 正義  | 秀東 | 和夫 | 博之 | 智子 | 与一 | 善博 | 隆二 | 徹  | 由子 | 章演 | 修司 | 賢次 | 盛信彦 | 谷内 | 山口 | 大島 | 内山  | 内田 | 浅村 | 下   | 泉   | 正明 | 秀一 | 秀二  | 久美子 | 久美子 |     |     |    |    |
| 鳥本  | 谷口  | 曾我  | 竹内 | 島田 | 品川  | 紙谷  | 飯田 | 木倉 | 若林 | 内田 | 三ノ宮 | 田中  | 作田  | 坂野  | 阿折  | 青木 | 山崎 | 森元 | 高橋 | 杉本 | 西村 | 西村 | 川島 | 林  | 渡辺 | 吉井 | 安井 | 浅井  | 竹内 | 木村 | 山口 | 大島  | 内山 | 内田 | 浅村  | 下   | 泉  | 正明 | 秀一  | 秀二  | 久美子 | 久美子 |     |    |    |
| 種谷  | 谷口  | 樋上  | 滝  | 島崎 | 木下  | 北野  | 大島 | 金澤 | 川崎 | 金澤 | 浦谷  | 道下  | 作田  | 坂野  | 阿折  | 青木 | 山崎 | 森元 | 高橋 | 杉本 | 西村 | 西村 | 川島 | 林  | 渡辺 | 吉井 | 安井 | 浅井  | 竹内 | 木村 | 山口 | 大島  | 内山 | 内田 | 浅村  | 下   | 泉  | 正明 | 秀一  | 秀二  | 久美子 | 久美子 |     |    |    |
| 多間  | 幸作  | 陽志子 | 康一 | 徳泰 | 信昭  | 信昭  | 大島 | 金澤 | 川崎 | 金澤 | 浦谷  | 道下  | 作田  | 坂野  | 阿折  | 青木 | 山崎 | 森元 | 高橋 | 杉本 | 西村 | 西村 | 川島 | 林  | 渡辺 | 吉井 | 安井 | 浅井  | 竹内 | 木村 | 山口 | 大島  | 内山 | 内田 | 浅村  | 下   | 泉  | 正明 | 秀一  | 秀二  | 久美子 | 久美子 |     |    |    |
| 小西  | 宮内  | 北原  | 川田 | 竹中 | 金森  | 安藤  | 上田 | 金澤 | 川崎 | 金澤 | 浦谷  | 道下  | 作田  | 坂野  | 阿折  | 青木 | 山崎 | 森元 | 高橋 | 杉本 | 西村 | 西村 | 川島 | 林  | 渡辺 | 吉井 | 安井 | 浅井  | 竹内 | 木村 | 山口 | 大島  | 内山 | 内田 | 浅村  | 下   | 泉  | 正明 | 秀一  | 秀二  | 久美子 | 久美子 |     |    |    |
| 和徳  | 陽子  | 博之  | 静代 | 絹子 | 智修  | 敏子  | 忠秀 | 上田 | 金澤 | 川崎 | 金澤  | 浦谷  | 道下  | 作田  | 坂野  | 阿折 | 青木 | 山崎 | 森元 | 高橋 | 杉本 | 西村 | 西村 | 川島 | 林  | 渡辺 | 吉井 | 安井  | 浅井 | 竹内 | 木村 | 山口  | 大島 | 内山 | 内田  | 浅村  | 下  | 泉  | 正明  | 秀一  | 秀二  | 久美子 | 久美子 |    |    |
| 松井  | 横川  | 木村  | 狭間 | 中西 | 宮川  | 櫻井  | 高木 | 井口 | 山腰 | 松本 | 角間  | 窪   | 山岸  | 三谷  | 北村  | 船山 | 藤谷 | 福多 | 杉本 | 杉本 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田  | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田  | 澤田  | 澤田  | 澤田  | 澤田 |    |
| 知子  | 由香子 | 実貴絵 | 陽一 | 輝貴 | 文志子 | 佳志子 | 玲子 | 晶晴 | 山腰 | 松本 | 角間  | 窪   | 山岸  | 三谷  | 北村  | 船山 | 藤谷 | 福多 | 杉本 | 杉本 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田 | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田  | 澤田 | 澤田 | 澤田  | 澤田  | 澤田  | 澤田  | 澤田  | 澤田 | 澤田 |
| 濱   | 野崎  | 智広  | 尚  | 野崎 | 智広  | 尚   | 野崎 | 智広 | 尚  | 野崎 | 智広  | 尚   | 野崎  | 智広  |     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |     |     |    |    |     |     |     |     |     |    |    |

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|
| 山本 | 谷内 | 坊城 | 堀内 | 塚林 | 小沢 | 浅井 | 山本 | 政浦 | 中出 | 菅原 | 川浦 | 浅井 | 津井 | 大岩 | 高田 | 西田 | 藤岡 | 三輪 | 砂田 | 櫻井 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 岡田 | 成弘  | 飯田  | 川田 | 大林 | 井田 | 大島 |    |    |
| 有美 | 綾子 | 仁奈 | 敬子 | 佑司 | 善昭 | 剛  | 弘  | 恵  | 健作 | 洋光 | 円  | 夏子 | 紀子 | 夕子 | 宗武 | 健悟 | 研佐 | 香織 | 孝之 | 孝之 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 成弘 | 真一朗 | 真一朗 | 哲士 | 横山 | 横山 | 美礼 |    |    |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本  | 山本  | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |
| 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 | 山本 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |     |    |    |    |    |    |    |

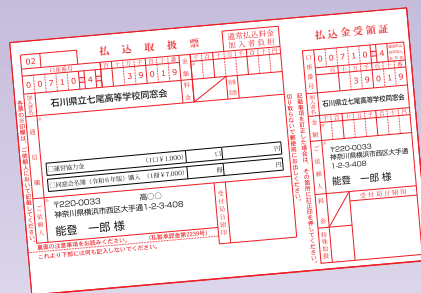
(令和7年4月現在)

# 運営協力金拠出のお願い

昨年は多大なご支援を頂き役員一同深く感謝申し上げます。活用内容といたしましては、以下のとおりです。

- ・ 母校への支援（部活動・スーパーハイスクール事業等）
- ・ 地区同窓会や期別同窓会への活動支援
- ・ 会報「七高同窓会だより」の毎年発行等

大切に使用させて頂いております。同窓会および母校のさらなる発展と未来を担う人材育成のためのご支援を引き続きお願い申し上げます。



## 《払い込み方法》

1. 郵便局（ゆうちょ銀行）からの払い込みは、会報と同封しました払込取扱票をご利用ください。
2. 郵便局以外の金融機関（銀行、信金）からの払い込みについては、各金融機関所定の用紙をご利用ください。

ネットバンキングからの送金もご利用いただけます。

※いずれの場合も、ご依頼人・通信欄にはご氏名・卒業回（期）の記入をお願いします。また、払込手数料をご負担ください。

金融機関名：ゆうちょ銀行  
店番：079  
店名：〇七九店（ゼロナナキュウ店）  
口座番号：当座 0039019  
加入者名：石川県立七尾高等学校同窓会

金融機関名：のと共栄信用金庫 本店営業部  
口座番号：普通 3053934  
口座名：石川県立七尾高等学校 同窓会一般会計  
代表 土井 保潔

## 令和 7 年度同窓会開催予定

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 関 西 同 窓 会                 | 日時 令和7年5月18日(日) 12:00～15:00<br>会場 新大阪ワシントンホテルプラザ 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-5-15 ☎06-6303-8111<br>会費 10,000円（高68期～73期5,000円、高74期～77期 無料）                                                                                                                                                   |
| 中能登同窓会                    | 日時 令和7年5月25日（日） 11:00～<br>会場 料亭「かめや」 〒929-1635石川県鹿島郡中能登町高島ツ181 ☎0767-77-1522<br>会費 ・男性5,000円 ・女性4,000円                                                                                                                                                                                  |
| 関 東 同 窓 会                 | 日時 令和7年6月28日(土) 受付11:30 開始12:00<br>会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館) 3階富士の間<br>〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 ☎03-3261-9921<br>〈地下鉄有楽町線・南北線〉「市ヶ谷駅」A1-1出口 〈JR中央線・総武線〉(各駅停車)「市ヶ谷駅」<br>〈都営新宿線〉「市ヶ谷駅A1-1またはA4出口」*各出口から徒歩2分<br>会費 ・男性10,000円 ・女性8,000円 ・優待 高校66期（平成26年3月卒業）以降および大学院生5,000円<br>・学生、88歳以上の方は無料ご招待 |
| 七尾高校同窓会<br>兼<br>金沢地区合同同窓会 | 日時 令和7年9月14日(日) 総会 11:00～ 懇親会 12:30～<br>会場 ホテル日航金沢 〒920-0853 石川県金沢市本町2-15-1 ☎076-234-1111<br>※合同で開催します。詳細はホームページにてご案内します。                                                                                                                                                               |
| 中 京 同 窓 会                 | 日時 令和7年10月19日(日) 12:00～15:00<br>会場 ルプラ王山 〒464-0841 愛知県名古屋千種区覚王山通8-18 ☎052-762-3151<br>会費 ・男性10,000円 ・女性7,000円 ・学生2,000円                                                                                                                                                                 |
| 富 山 同 窓 会                 | 日時 令和7年11月9日（日） 11:30～<br>会場 富山電気ビルディング(株)4階レストラン 〒930-0004富山県富山市桜橋通り3番1号 ☎076-432-4111                                                                                                                                                                                                 |

※同窓会開催につきましては、社会情勢によりやむなく中止となる場合がありますので、七尾高校同窓会ホームページにてご確認ください。(https://nanakou.jp/)

※お問い合わせは、各地区同窓会事務局または七尾高校同窓会事務局までご連絡ください。(☎0767-52-3376またはEメール：honbu@nanakou.jp)

## ◆期別同窓会開催のご案内◆

| 期               | 開催日時・会場                                                                                               | 幹事または連絡先                                                      |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 高17期            | 令和7年10月25日（土）<br>（関東・関西地区合同同期会 in 浜松）                                                                 | 岡野拓夫<br>※詳細は後日お知らせ                                            |
| 高26期<br>(S49年卒) | 令和7年10月26日（日）～27日（月）<br>会場：日本の宿 のと楽<br>内容は右のQRコードから<br>詳細 申込                                          | 小川幸彦<br>090-7749-3382                                         |
| 高33期            | 令和7年8月16日（土）18時～<br>会場：日本の宿 のと楽 [石川県七尾市石崎町香島1-14]                                                     | ※詳細は後日お知らせ                                                    |
| 高35期            | 令和7年8月15日（金）18時～<br>会場：日本の宿 のと楽 [石川県七尾市石崎町香島1-14]                                                     | ※詳細は後日お知らせ                                                    |
| 高36期            | 令和7年8月16日（土）<br>会場：Allegro Kanazawa [石川県金沢市片町1丁目5-15 関ビル2F]                                           | 滝 渉<br>65wataru0518@gmail.co.jp                               |
| 高44期            | 令和7年8月16日（土）<br>会場：日本の宿 のと楽 [石川県七尾市石崎町香島1-14]<br>昨年は地震の影響でやむなく延期。地元応援のため七尾で今年開催！今できることをやろう、今会える人に会おう！ | 瀬川 活<br>segakatsu@gmail.com<br>電話 080-4362-1451<br>※詳細は後日お知らせ |

## 住所・氏名など変更された方はお知らせください

※宛先が不明になりますと同窓会からの案内が届けられません。ご協力をお願いします。

引越しやご結婚などに伴い、住所、氏名（旧姓）、電話番号などを変更された方は届出をお願いします。

【連絡先】七尾高等学校同窓会事務局（郵送）〒926-0817 石川県七尾市西藤橋町エ1-1  
【電話・FAX】0767-52-3376 【Eメール】honbu@nanakou.jp

昨年度の理事会および総会において、インターネットやSNSを活用して同窓会のためによりや案内を発信することについての提案がありました。これを受け、役員会ではLINE（ライン）を活用する方法を検討しています。

震災後、SNSを通じて心温まる情報を受け取る機会があり、また、インターネットによる情報の受信が便利であることを再認識しました。同窓会の皆様の中には、ITの活用が苦手な方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、こうした機会こそ、同窓生に相談し、同窓生だけでなく、さまざまな世代の同窓生との交流を深めるチャンスとなるのではないのでしょうか。



編集長 松井 敏史（高33）